

施策評価シート 基本構想（重点プロジェクト）

○基本事項	
番号	重点プロジェクト
1	まちづくり人を育む 協働のまちづくりプロジェクト
<p>これからのまちづくりを進めるにあたっては、公的責務を果たす行政の役割に加え、町民や地域、ボランティア、企業等の多様な人々が支え合う協働のまちづくりの仕組づくりが必要です。その礎として町民が参画しながら「自治基本条例」の制定による町民協働のシステムを確立し、町民がまちづくりに参加できる場づくりや、地域自治を担う人材や組織の育成を推進します。</p>	

○施策の評価				
施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度	担当課
「自治基本条例」の制定	4 良好	【成果】 ・平成26年10月2日に桂川町自治基本条例制定 【課題】 ・町民に条例を周知すること	◎	企画財政課
町民によるまちづくりサポーターの育成	3 やや良好	【成果】 ・「王塚古墳まつり実行委員会」は毎年、王塚古墳まつりin桂川を開催している。王塚装飾古墳の秋の特別公開とお祭りを同時開催することにより、たくさんの町民や町外の人に対し、王塚装飾古墳や桂川町の魅力を発信している。 ・役場職員の若手、商工会青年部、農協桂川支所の若手などによるボランティア団体「明日を創る会」は、町のイベント（夏祭り桂川・王塚古墳まつり）などに積極的に取り組んでいる。 ・「王塚太鼓保存会」は、町内外のイベントで太鼓の演奏を通し、桂川町の魅力を発信している。また、小学校の太鼓の授業にも講師として参加するなど、児童育成にも貢献している。 ※町は各団体の事務局を担い、活動に対する補助金などを出している。 【課題】 ・各団体の人材の育成及び確保	◎	企画財政課
	3 やや良好	【成果】 ・桂川町郷土史会により、王塚古墳特別公開の際、受付、案内、解説などのボランティア活動が行われている。 ・王塚古墳まつりの際、体験活動の受付、説明、指導などにボランティアで参加してもらっている。 【課題】 ・桂川町郷土史会の会員の高齢化、減少は大きな課題	◎	社会教育課

創造的な行政組織づくりと効率的な財政運営	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年6月22日法律第94号）に基づく健全化判断比率について、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は期間を通じて発生せず、実質公債費比率は平成23年度5.9%が令和元年度3.5%に、将来負担比率は平成23年度11.7%が令和元年度発生せずと低減しており、指数的に財政の健全化状況を示している。このことから、多様な行政ニーズによる財政需要の増大に対応しつつ、効率的な財政運営を実施してきたものと考ええる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政構造の弾力性を測定する指標である経常収支比率が、期間を通じて95%前後と高止まりしているため、自主財源の新規確保や更に効率的な行政運営の実施などにより、財政構造の硬直度高の改善を図ること 	◎	企画財政課 総務課
----------------------	-----------	---	---	--------------

○施策を取り巻く環境の変化・課題	
環境変化	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少及び少子高齢化が進みボランティア団体の高齢化が進む。（企画財政課） ・桂川町郷土史会は、生涯学習の一環として郷土史と王塚古墳の学習を行い、その成果発表の場として王塚古墳の特別公開でのボランティア参加をする、として活動が始まった。郷土史への関心の時代変化や、サークル活動への関心の変化により、会員の減少が大きな課題である。（社会教育課）
推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体などのボランティアを担う若い人材などの確保（企画財政課） ・環境変化はあるが、郷土の誇りとして、国内62例、県内5例の「特別史跡」であることなどを周知すること、周辺にもそれに次ぐ前方後円墳が分布していること、長崎街道と秋月街道の分岐点があったこと、獅子舞・神楽をはじめとする民俗文化財が伝承されてきたことなど、町の歴史に関心を得るための入り口を広くすることで、関心を持つ人を増やし、郷土史会などのボランティア活動への参加者を増やすなどの取り組みは考えられる。（社会教育課）

○重点プロジェクトの方向性				
今後の方向性の判断	重点プロジェクトの方向性 (企画財政課)	継続	左記 判断理由	今後10年も継続する必要があるため
	重点プロジェクトの方向性 (社会教育課)	継続	左記 判断理由	王塚古墳の活用において、重要な位置を占めているため、継続して取り組む必要がある。

施策評価シート 基本構想（重点プロジェクト）

○基本事項	
番号	重点プロジェクト
2	住み良いまちをつくる 子育て支援・定住促進プロジェクト
<p>定住人口を維持する、住み良い・住みたいまちをつくるためには、桂川の持つ豊かさを生かした「住み良さ」を実感できる魅力あるまちづくりと定住促進が重要です。</p> <p>本町の魅力である豊かな自然環境や田園風景といった特性を生かし、安全・安心な生活環境づくりや、豊かな子どもを育てる子育て・教育環境づくり等、若年層・ファミリー層が働きながらいきいきと暮らせる環境づくりに努めます。</p>	

○施策の評価				
施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度	担当課
豊かな子どもが育つ、子育て・教育環境の向上	3 やや良好	【成果】 ・子育て支援センター「ひまわりのたね」（H27.11）開所 【課題】 ・子育て支援センター「ひまわりのたね」利用者数に対し専用面積（部屋）が狭い。 ・保育施設（土師保育所、吉隈保育所）の老朽化 ・保育士不足などの要因による待機児童問題 ・桂川小学童保育所（本館、校舎、桂寿苑）の分散保育による非効率化	◎	子育て支援課
	4 良好	【成果】 ・ハード面では、空調設備やトイレ工事が完了し、情報化教育においては、校内ネットワークシステムの環境整備が今年度完了する。 ・ソフト面では、学校支援地域本部の立ち上げ、スクールソーシャルワーカーの活用時間の拡充、給食食材の地場産の活用などによる食育の推進などにより教育環境の向上を図った。 【課題】 ・学校の老朽化による管理改善が多くなり、抜本的な改善（長寿化計画など）が必要	◎	学校教育課
桂川の魅力発信による定住促進	2 やや不良	【成果】 ・福岡都心部などでの定住PRの機会を検索し、ロビー展やWEB情報掲載など積極的に活用している。 【課題】 ・桂川の魅力を伝えるための素材（パンフレット、情報メディア）の充実が必要	◎	企画財政課
住み良い安全・安心なまちづくり	3 やや良好	【成果】 ・自主防災組織の設置 ・女性消防班の設置 【課題】 ・自然災害に伴う避難のあり方と避難所の環境整備	○	総務課

○施策を取り巻く環境の変化・課題	
環境変化	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化により子どもの出生数はほぼ横ばいではあるが、共働き世帯の増加により、低年齢児の保育ニーズは増加している。保育士不足（子育て支援課） ・平成27年度の地方教育行政法の改正により、教育大綱を策定（学校教育課） ・福岡都心部は、人口増加が継続しており通勤圏内である桂川町の地勢評価を上げる絶好のチャンスである。（企画財政課） ・毎年のように全国各地で発生している豪雨被害について、九州地方はその傾向が顕著なる可能性がある。（総務課）
推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保育施設の老朽化、既存施設の活用による手狭さなど（子育て支援課） ・－（学校教育課） ・呼び水となる、教育の充実（環境などハード面、評価に値する独自性のある取り組み）や、移住定住を積極的に呼び込む施策の検討、実施が必要である。（企画財政課） ・大規模な災害が発生した場合、職員体制に不安がある。（人員不足）（総務課）

○重点プロジェクトの方向性				
今後の方向性の判断	重点プロジェクトの方向性 (子育て支援課)	見直し	左記 判断理由	保育事業及び放課後児童クラブ運営事業（学童保育所）の継続及び推進には、保育教育事業再編の検討、保育施設の改築、児童館（子育て支援センターの併設など）の建設などの検討が必要と思われる。
	重点プロジェクトの方向性 (学校教育課)	継続	左記 判断理由	次世代を担う子供たちの育成は、重要な取り組みであるため
	重点プロジェクトの方向性 (企画財政課)	継続	左記 判断理由	地方創生における定住施策の推進には、1ターン者の定住だけでなく、新たな移住者も積極的に獲得していく必要があり、そのための桂川町の認知度向上、PRは必須のため
	重点プロジェクトの方向性 (総務課)	継続	左記 判断理由	住みよい条件の一つに「災害に強いまちづくり」があり、住民の安全安心につながる重要な取り組みである。

施策評価シート 基本構想（重点プロジェクト）

○基本事項	
番号	重点プロジェクト
3	新しい交流により絆を深める 交流拡大プロジェクト
<p>新しいまちづくりの実現に向けて、町内外の多彩な交流を拡大し、町内外との情報交流と人的ネットワークづくりの活発化、定住促進に向けた都市住民とのふれあいづくりを目指していきます。</p> <p>この交流拡大の中核拠点となる桂川駅周辺については、広域交通・交流の場として機能を高めるとともに、住民センターと各地域の公民館などの連携により、地域のコミュニティ活動のネットワーク化を図り、様々な地域内の交流を活性化していきます。</p>	

○施策の評価				
施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度	担当課
広域交通・交流の場としての桂川駅周辺整備の推進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 桂川駅舎改築、自由通路新設による利便性の向上 定住自立圏の取り組みの一環として、桂川駅を交通結節点とする広域交通の強化 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉バスとの乗り継ぎによる利便性（ＪＲ・西鉄バス・飯塚市コミュニティバス・嘉麻市バス） 	○	企画財政課
	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 桂川駅周辺地区都市再生整備計画が完了 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 王塚古墳関連施設の有効活用の基盤となるアクセス道路の整備を検討する必要がある。 	○	建設事業課
地域の多彩な交流活動の拡大	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度から「地域はつらつ応援助成金」を開始 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域での高齢化が進み、世帯数の少ない分館では、行事開催に苦慮されている。 	○	社会教育課
都市住民とのふれあい交流機会の拡大	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 王塚古墳まつりやゆのうら体験の杜など、都心部にない地域資源を活用した事業PRを都心部でも行うなど、都心住民との関係人口増加の取り組みを積極的に行っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 桂川町の認知度がまだまだ不足しているので、継続的な取り組みや新たな取り組みにより、本町に来てもらう土壌づくりが必要である。 	○	企画財政課 産業振興課

○施策を取り巻く環境の変化・課題	
環境変化	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なメディアを活用した桂川町のPRにより、本町の認知度は向上している。また、ゆのうら体験の杜などの新たな施設開設により、都心部にはない地域資源を活用した事業が実施できるようになった。（企画財政課） ・桂川駅の利便性向上に伴う民間活力の導入が期待される。（建設事業課） ・各地域での高齢化と少子化による人口減（社会教育課）
推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・上記は、他の市町村も同様の取り組みを行っているので、継続した取り組みを今後も行っていくとともに、本町に来てもらえる資源開発や新たな取り組みが必要である。（企画財政課） ・桂川駅・都市計画道路を中心とした人口交流の拡大、まちの賑わいに向けた施策（ソフト事業）を検討する必要がある。（建設事業課） ・各地域での高齢化と少子化による人口減による役員のなり手不足（社会教育課）

○重点プロジェクトの方向性				
今後の方向性の判断	重点プロジェクトの方向性 （企画財政課）	継続	左記 判断理由	交流拡大の基盤となるインフラ整備は進んできており、次段階としてソフト事業などの施策による魅力発信を継続する必要がある。
	重点プロジェクトの方向性 （建設事業課）	継続	左記 判断理由	交流拡大の基盤となるインフラ整備は進んできており、次段階としてソフト事業などの施策による魅力発信を継続する必要がある。
	重点プロジェクトの方向性 （社会教育課）	継続	左記 判断理由	少子高齢化が進む中でも、地域が存在する限り、コミュニティは必要であるため

施策評価シート 計画推進のための施策 (1-①)

○基本事項	
番号	計画推進のための施策
1	町民と行政がともに創造するまちづくり
基本方針	
■町民のまちづくりへの参画を促進します。 ■地域コミュニティ活動を推進します。 ■自主的な住民活動・ボランティア活動を支援します。 ■町民と行政のコミュニケーションを図ります。	
番号	基本施策
1-①	町民のまちづくりへの参画促進

○基本施策を構成する主要施策の評価				
主要施策	評価	左記判断理由 (成果・課題)	今後の重要度	担当課
自治基本条例にもとづく町づくりの推進	2 やや不良	【成果】 ・第1期推進委員会H27.7.23～H29.7.22：12回 第2期推進委員会H29.9.12～R1.9.11：13回 【課題】 ・町民への条例の周知、啓発	◎	企画財政課
新主要施策の提案	情報の共有・参画・協働によるまちづくりの推進			
上記を新主要施策として提案する理由	条例第5条にもあるとおり、情報の共有・参画・協働は、基本原則であるため			
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題				
環境変化	人口減少、高齢化、地域コミュニティの希薄化			
推進上の課題	自治を担う人材育成			

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	まだ取り組むことができていない課題があるため

施策評価シート 計画推進のための施策 (1-②)

○基本事項	
番号	計画推進のための施策
1	町民と行政がともに創造するまちづくり
基本方針	
<p>■町民のまちづくりへの参画を促進します。</p> <p>■地域コミュニティ活動を推進します。</p> <p>■自主的な住民活動・ボランティア活動を支援します。</p> <p>■町民と行政のコミュニケーションを図ります。</p>	
番号	基本施策
1-②	地域コミュニティ活動の推進

○基本施策を構成する主要施策の評価				
主要施策	評価	左記判断理由 (成果・課題)	今後の重要度	担当課
コミュニティ活動の支援	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域はつらつ応援助成金の交付 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上限額10万円の事業ができていない地域もある。 	○	社会教育課
行政区を核とした地域コミュニティ体制の強化	2 やや不良	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規転入者に対し自治会加入の案内チラシを転入手続時に配布し、加入促進を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規転入者の自治会未加入に加え、自治会加入者の高齢などの理由による脱退が多くなっている。 ・自治会を解散した区がある。 	◎	総務課
町民のコミュニティ活動への参加促進策の創造	2 やや不良	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある自治会活動推進のため、行政区長の先進地視察などを実施した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会未加入者が増加傾向にあり、コミュニティ活動の活性化に至っていない。 	○	総務課
新主要施策の提案	-			
上記を新主要施策として提案する理由	-			
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題				
環境変化	自治会加入のメリットの一つである広報紙などの配布物について、他の自治体では、自治会ではなく、ポスティングに変更するなど、自治会に加入するメリットが少なくなる傾向にある。(総務課)			
推進上の課題	自治会加入のメリットが広報できていない。(総務課)			

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	地域コミュニティ支援を充実させる必要があるため

施策評価シート 計画推進のための施策 (1-③)

○基本事項	
番号	計画推進のための施策
1	町民と行政がともに創造するまちづくり
基本方針	
<p>■町民のまちづくりへの参画を促進します。</p> <p>■地域コミュニティ活動を推進します。</p> <p>■自主的な住民活動・ボランティア活動を支援します。</p> <p>■町民と行政のコミュニケーションを図ります。</p>	
番号	基本施策
1-③	自主的な住民活動・ボランティア活動の支援

○基本施策を構成する主要施策の評価				
主要施策	評価	左記判断理由 (成果・課題)	今後の重要度	担当課
ボランティア連絡協議会の運営支援	3 やや良好	【成果】 ・社会福祉協議会に対して支援を行っている。 【課題】 -	○	健康福祉課
高齢者等のボランティア人材の育成	3 やや良好	【成果】 ・社会福祉協議会に対して支援を行っている。 【課題】 ・担い手不足の解消が課題。	○	健康福祉課
地域包括ケアシステムの構築と福祉サービスの担い手育成	3 やや良好	【成果】 ・在宅医療、介護の連携（2市1町で飯塚医師会に委託したこと）で多くの関係団体の協力を得ることができ、構築が進んでいる。 【課題】 ・住民主体による支援の構築が課題	◎	健康福祉課
新主要施策の提案	-			
上記を新主要施策として提案する理由	-			

○主要施策を取り巻く環境の変化・課題	
環境変化	高齢化と少子化が更に進展する。
推進上の課題	担い手不足の解消が課題

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	現在の方向性からの変更は必要ないと考えるため

施策評価シート 計画推進のための施策 (1-④)

○基本事項	
番号	計画推進のための施策
1	町民と行政がともに創造するまちづくり
基本方針	
<p>■町民のまちづくりへの参画を促進します。</p> <p>■地域コミュニティ活動を推進します。</p> <p>■自主的な住民活動・ボランティア活動を支援します。</p> <p>■町民と行政のコミュニケーションを図ります。</p>	
番号	基本施策
1-④	町民と行政のコミュニケーションの促進

○基本施策を構成する主要施策の評価				
主要施策	評価	左記判断理由 (成果・課題)	今後の重要度	担当課
広報紙やホームページの充実と新たな情報発信手段の検討	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルテレビ、WEBテロップを活用し、広報掲載記事を広く町民へ情報発信している。 ・スマートフォン向け専用アプリに登録し、過去の広報紙を含め閲覧できる環境を整えている。 ・広報紙は、自治会に加入している世帯のみに配布をしているため、未加入の世帯への対応として、コンビニ、役場窓口などに広報紙を配架し多くの住民の手に届くようにしている。 ・視覚障害者のための点字広報も作成した。 ・5年前よりメディア (TV・マスコミなど) を積極的に活用した情報発信を行っている。 ・昨年より、ゆのうら体験の杜など限定的ではあるが、SNSなどを活用した情報発信を行っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット及びスマートフォンを使用している町民への広報紙閲覧環境は充実しているが、閲覧方法などの周知がまだ足りていない。 ・ネットを使った情報発信は、情報の鮮度や回数がポイントとなるので、情報収集及び発信を行うための人員確保が必要 	○	企画財政課
	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでは、新型コロナウイルス感染症対応として、「重要なお知らせ」欄を作成し、コロナ関連の情報を集約するようレイアウトを変更するなど住民への周知に努めた。更新の頻度も増やすことで、町の情報を届けることができたと考えている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閲覧件数は増加しているが、決まったページでの閲覧が集中しているため、閲覧の少ないページの閲覧数の増加を検討する。 	○	総務課

町民の政策立案への参画機会の確保	3 やや良好	【成果】 ・公募委員数：総合計画審議会3名 自治基本条例推進委員4名（欠1） 男女共同参画施策推進協議会委員2名（欠1） 地域福祉施策推進協議会委員2名（欠1） 【課題】 ・欠員の補充	○	企画財政課
新主要施策の提案	-			
上記を新主要施策として提案する理由	-			
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題				
環境変化	・情報発信手段に関しては、SNSなどインターネット（スマートフォン）が主流となってきている。（企画財政課） ・参画機会の確保については、アンケートの回答者及び、公募の応募者の年齢が高齢化してきている。（企画財政課） ・-（総務課）			
推進上の課題	・各委員の公募の応募者が、大体同じ人に偏っている。若い世代の意見をとりいれる機会（参画機会）を確保していく必要がある。（企画財政課） ・-（総務課）			

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性 （企画財政課）	継続実施	左記 判断理由	継続的に行う施策であるため
	基本施策の方向性 （総務課）	継続実施	左記 判断理由	現在は、パソコン向けのホームページのみの提供であるが、スマートフォン向けのデザインを導入するなど、更なる情報発信に努める。

施策評価シート 計画推進のための施策 (2-①)

○基本事項	
番号	計画推進のための施策
2	合理的で効率的な行政運営と広域行政の推進
基本方針	
<p>■ 町民ニーズに対応できる組織・人材の育成に努めます。</p> <p>■ 効率的な行財政運営を堅持し、財政の健全化を図ります。</p> <p>■ 飯塚市、嘉麻市等との広域行政による連携強化を推進します。</p>	
番号	基本施策
2-①	町民ニーズに対応できる組織・人材の育成

○基本施策を構成する主要施策の評価				
主要施策	評価	左記判断理由 (成果・課題)	今後の重要度	担当課
職員の人事評価制度の導入・研修機会の充実	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当業務の棚卸し、計画的な業務管理に対する意識付けとなっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価制度の更なる精度向上 	○	総務課
新主要施策の提案	嘉飯圏域定住自立圏人材育成部会による飯塚市・嘉麻市職員との合同研修の開催			
上記を新主要施策として提案する理由	本町の職員規模では対象者が少なく実施に至っていない研修が可能となる。また、圏域の職員と合同で研修に参加し、本人の意識向上に加え、本町の職場を見直す契機となり、大変有用な取り組みだと考えている。			
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題				
環境変化	新型コロナウイルス感染症の影響により、合同での集合研修が困難な状況			
推進上の課題	ICTを活用した研修の実施			

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	職員の資質・スキル向上により、住民サービスの更なる充実を目指す。

施策評価シート 計画推進のための施策 (2-②)

○基本事項	
番号	計画推進のための施策
2	合理的で効率的な行政運営と広域行政の推進
基本方針	
<p>■ 町民ニーズに対応できる組織・人材の育成に努めます。</p> <p>■ 効率的な行財政運営を堅持し、財政の健全化を図ります。</p> <p>■ 飯塚市、嘉麻市等との広域行政による連携強化を推進します。</p>	
番号	基本施策
2-②	効率的な行財政運営と財政の健全化

○基本施策を構成する主要施策の評価				
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度	担当課
事務処理の簡素化・効率化	1 不良	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティ強化の必要性により、総合行政システムをマイナンバー利用事務系とL G W A N系に分離せざるを得なかったため、これまでのI C T活用による事務効率具合に一部後退が見られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> A IやR P Aなどの導入により、これまで人間が行ってきた業務の自動化や効率化を図ること 	○	企画財政課
民間活力の導入	2 やや不良	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年1月に、町・商工会・J Aの共同出資で『一般社団法人地域商社いいバイ桂川』を設立、地域特性や民間ノウハウを持ち合わせた同法人が、国の交付金を活用した地方創生施策や施設の管理運営など、町事業の受け皿として活動した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他自治体の先行成功事例を研究し、指定管理者制度などの導入可能性を探ること 	○	企画財政課
計画的な財政運営の推進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年度、国から発出される地方財政計画を精査して、地方交付税交付額の推計や地方債の動向把握などを行っている。 前年度の決算値を受けて、財政シミュレーション（※内部資料）の更新を行っている。 平成27年度に、財務省福岡財務支局による財務状況ヒアリングが行われたが、特に問題ない旨の総合評価を得た。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対外的に公表可能な中長期の財政計画を策定すること 	◎	企画財政課

町税及び使用料等の収納率向上	3 やや良好	【成果】 ・納付書発送時に口座振替を推奨する文書を同封するなどして納付忘れの防止に努め、滞納者に対しては預貯金や給与の差押えなどの滞納処分を積極的に実施し、収納率向上に繋がった。 【課題】 ・口座振替の場合でも一度金融機関に書類提出の必要があり、日中仕事などで行けない方もいる。休日や夜間でも納付可能なコンビニ納付などの導入の検討も必要。 ・限られた徴収職員の中で、より効率的な滞納整理業務を確立すること	◎	税務課
公共施設等総合管理計画の策定と効率的な管理運用	3 やや良好	【成果】 ・令和2年度中に主要施設の個別施設計画を策定予定 【課題】 ・小規模施設について、個別施設計画の策定を行う必要がある。	○	建設事業課
未利用地等の有効活用の検討	2 やや不良	【成果】 ・未利用地の売却候補の一覧表を作成した。 【課題】 ・公売などの制度設計が必要	○	建設事業課

新主要施策の提案	-
上記を新主要施策として提案する理由	-

○主要施策を取り巻く環境の変化・課題

環境変化	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT化や民営化の加速（企画財政課） ・現金決済からキャッシュレス決済が主流となりつつあるため、クレジットカード決済やキャッシュレス決済アプリなど、新たな収納手段の導入の検討が必要となってきている。（税務課） ・各種施設の老朽化の進行（建設事業課）
推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国の地方財政施策に左右されない安定的な財政基盤の確立（企画財政課） ・各手数料の負担やキャッシュレス決済アプリなどに対応するためのシステム変更や納付書などの変更（税務課） ・各種施設の老朽化対策および管理運営方針の検討を行う必要がある。（建設事業課）

○基本施策の方向性

今後の方向性の判断	基本施策の方向性 （企画財政課）	継続実施	左記 判断理由	時代の変遷に関わらず、常に求められる施策であるため
	基本施策の方向性 （税務課）	継続実施	左記 判断理由	税の公平性の観点や税収確保のため
	基本施策の方向性 （建設事業課）	継続実施	左記 判断理由	継続的に行う施策である。

施策評価シート 計画推進のための施策 (2-③)

○基本事項	
番号	計画推進のための施策
2	合理的で効率的な行政運営と広域行政の推進
基本方針	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 町民ニーズに対応できる組織・人材の育成に努めます。 ■ 効率的な行政運営を堅持し、財政の健全化を図ります。 ■ 飯塚市、嘉麻市等との広域行政による連携強化を推進します。 	
番号	基本施策
2-③	広域行政の推進

○基本施策を構成する主要施策の評価				
主要施策	評価	左記判断理由 (成果・課題)	今後の重要度	担当課
広域的な共同事業の開発・推進	3 やや良好	【成果】 ・嘉飯圏域定住自立圏形成推進会議では、21の連携事業を行っており、図書館の相互利用や地域公共交通の維持・確保、移住定住施策などの取り組みができています。 【課題】 ・病児病後児保育など住民ニーズが高い施策について、まだまだ不十分なので検討が必要	◎	企画財政課
一部事務組合の運営方法の研究	3 やや良好	【成果】 ・平成31年4月1日より、ふくおか県央環境広域施設組合をスタートさせ2市2町がそれぞれ運営している。ごみ処理施設、最終処分場、し尿処理施設、火葬場を1つの組合で滞ることなく管理できている。 【課題】 ・現在は総合で終わっているそれぞれの施設を財政負担の軽減や環境負荷の低減を図り、持続可能な運営ができるように集約、再編に向けて検討する必要がある。	◎	保険環境課
定住自立圏構想の検討	4 良好	【成果】 ・飯塚市を中心市として、H30.3.26に嘉飯圏域定住自立圏の形成に関する協定を締結し、飯塚市、嘉麻市、桂川町で連携して圏域を活性化し、定住促進に取り組んでいる。 【課題】 -	◎	企画財政課
新主要施策の提案	-			
上記を新主要施策として提案する理由	-			
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題				
環境変化	・人口減少と少子高齢化が急速に進行する。(企画財政課) ・平成31年4月1日より、ふくおか県央施設組合の運営となった。(保険環境課)			
推進上の課題	・地方圏から都市圏への人口流出を抑制し、都市圏から地方圏への人の流れを創出する。(企画財政課) ・広域の検討となったため、合意形成に時間を要す。(保険環境課)			

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性 (企画財政課)	継続実施	左記判断理由	同じ生活圏域である飯塚市、嘉麻市、桂川町で連携・役割分担し、圏域を活性化することで定住を促進する必要がある。
	基本施策の方向性 (保険環境課)	継続実施	左記判断理由	施設の集約、再編は重要課題でありなおかつ、時間的余裕がないため

施策評価シート (1-1-①)

○基本事項			
1	少子高齢化社会に対応し、安心して暮らせるまちづくり（健康・福祉の充実）		
1-1	ともに支え合う地域福祉のまちづくり		
基本方針			
<p>■利用しやすい福祉サービスの仕組みづくりを進めます。</p> <p>■安全で安心できる暮らしを支える環境づくりに努めます。</p> <p>■みんなが気軽に参加できるコミュニティづくりを推進します。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
1-1-①	必要な時に適切な福祉サービスを利用できる地域の実現	健康福祉課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
社会福祉協議会、民生児童委員協議会との連携強化	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携は十分にとれている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員に関しては欠員があるため、その補充が必要だが担い手不足で困難な状態である。 	◎
福祉情報の提供や相談窓口の拡充	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要に対しては、十分対応できている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい制度や法改正などについて分かりやすい情報提供を行う手法の確立が必要である。 	◎
見守りネットワークの構築	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元民生委員に頼る部分が多いが構築できている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員に関しては欠員があるため、その補充が必要だが担い手不足で困難な状態である。 	◎
福祉サービス情報提供の充実	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜、情報提供には努めている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度の情報については内容が困難なものも多く、住民に対して分かりやすく丁寧に周知する必要がある。 	◎
相談支援の充実	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要に対しては、十分に対応できている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい制度や法改正などを適正に反映した相談支援が必要である。 	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	今後さらに少子高齢化は進展していくことが予想される。		
推進上の課題	今後増加する高齢者からの多岐にわたる相談に対する対応が必要となる。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	現在の方向性からの変更は必要ないとする。

施策評価シート (1-1-②)

○基本事項			
1	少子高齢化社会に対応し、安心して暮らせるまちづくり〈健康・福祉の充実〉		
1-1	ともに支え合う地域福祉のまちづくり		
基本方針			
<p>■利用しやすい福祉サービスの仕組みづくりを進めます。</p> <p>■安全で安心できる暮らしを支える環境づくりに努めます。</p> <p>■みんなが気軽に参加できるコミュニティづくりを推進します。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
1-1-②	安心して暮らせる地域の実現	健康福祉課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
地域での福祉サービスの充実	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員を中心に対応できている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政区毎に差があるので、全体の底上げと平準化が必要 	◎
命を守る支援の充実	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注視が必要な高齢者については行政と地域とで協力し声掛けや誘い出しを行っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や行政が把握できていない住民についての対応が必要 	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	今後さらに少子高齢化は進展していくことが予想される。		
推進上の課題	把握できていない引きこもり高齢者などの把握と誘い出しが必要		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	現在の方向性からの変更は必要ないと考える。

施策評価シート (1-1-③)

○基本事項			
1	少子高齢化社会に対応し、安心して暮らせるまちづくり〈健康・福祉の充実〉		
1-1	ともに支え合う地域福祉のまちづくり		
基本方針			
<p>■利用しやすい福祉サービスの仕組みづくりを進めます。</p> <p>■安全で安心できる暮らしを支える環境づくりに努めます。</p> <p>■みんなが気軽に参加できるコミュニティづくりを推進します。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
1-1-③	地域福祉活動に参加できる地域の実現	健康福祉課	企画財政課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
福祉課題を学ぶ場の充実	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各行政区の公民館などで学習の場を設けている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者を増やすことが今後の課題 	◎
地域での社会参加の機会の充実	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各行政区において様々な催し物を開催することにより、社会参加の機会を確保している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者を増やすことが今後の課題 	◎
ボランティア団体の活動支援	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康推進係として食生活改善推進会活動の支援を実施、健康推進係の健康増進事業への協力をしてもらっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進会については、会員の高齢化により会員数の減少やイベント参加者の減少が課題となっている。 	◎

<p>ボランティア団体の活動支援 (企画財政課)</p>	<p>4 良好</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「王塚古墳まつり実行委員会」は毎年、王塚古墳まつりin桂川を開催している。王塚装飾古墳の秋の特別公開とお祭りを同時開催することにより、たくさんの町民や町外の人に対し、王塚装飾古墳や桂川町の魅力を発信している。 ・役場職員の若手、商工会青年部、農協桂川支所の若手などによるボランティア団体「明日を創る会」は、町のイベント（夏祭り桂川・王塚古墳まつり）などに積極的に取り組んでいる。 ・「王塚太鼓保存会」は、町内外のイベントで太鼓の演奏を通し、桂川町の魅力を発信している。また、小学校の太鼓の授業にも講師として参加するなど、児童育成にも貢献している。 <p>※町は各団体の事務局を担い、活動に対する補助金などを出している。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体人材の育成及び確保 ・各団体の活動に必要な費用などに対する補助 	<p>○</p>
<p>新主要施策の提案</p>	<p>—</p>		
<p>上記を新主要施策として提案する理由</p>	<p>—</p>		
<p>○主要施策を取り巻く環境の変化・課題</p>			
<p>環境変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進員の高齢化と会員減少がすすんでいる。（健康福祉課） ・人口減少及び少子高齢化が進みボランティア団体の高齢化が進む。（企画財政課） 		
<p>推進上の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントなどへの参加の際のマンパワー不足（健康福祉課） ・各団体などのボランティアを担う若い人材などの確保（企画財政課） 		

<p>○基本施策の方向性</p>				
<p>今後の方向性の判断</p>	<p>基本施策の方向性 (健康福祉課)</p>	<p>継続実施</p>	<p>左記 判断理由</p>	<p>現在の方向性を継続しながら参加者を増やすための検討が必要と考える。</p>
	<p>基本施策の方向性 (企画財政課)</p>	<p>継続実施</p>	<p>左記 判断理由</p>	<p>継続して行うべき施策であるため</p>

施策評価シート (1-2-①)

○基本事項			
1	少子高齢化社会に対応し、安心して暮らせるまちづくり〈健康・福祉の充実〉		
1-2	安心して子どもを産み育てることができる子育て支援の充実		
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもを安心して産み育てることができるよう、妊婦・乳幼児の健康づくりを支援します。 ■ 多様なニーズに対応できる子育て環境の充実を図ります。 ■ 子ども虐待を防止するため、関係機関が連携した体制をつくります。 ■ 子どもに対する医療費負担の軽減を図ります。 			
番号	基本施策	担当課	関係課
1-2-①	母子保健事業等の推進	健康福祉課	子育て支援課 学校教育課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の 重要度
妊婦・乳幼児に対する健康づくり	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦の健康づくりについて 桂川町独自の取り組みとして、妊婦全員を対象とした妊婦歯科健診受診券を発行している。令和2年度より助産師（会計年度職員）を採用して母子保健事業を実施中 <利用者数> 平成28年度 22名 平成29年度 20名 平成30年度 21名 令和元年度 31名 ・乳幼児の健康づくりについて 乳児健診（4か月児・7か月児・12か月児を対象）は、毎月実施している。身体計測、診察、発達状況の確認、歯科相談、育児相談、栄養相談などを行っている。 <乳児健診受診状況（受診者数/対象者数）> 平成28年度 275名/330名 受診率83.3% 平成29年度 239名/273名 受診率87.5% 平成30年度 247名/261名 受診率94.6% 令和元年度 224名/261名 受診率85.8% ・1歳6か月児健診は、3か月に1回実施している。上記乳児健診項目に加え歯科診察、カリオスタット検査を行っている。 <1歳6か月児健診受診状況（受診者数/対象者数）> 平成28年度 93名/116名 受診率80.2% 平成29年度 98名/118名 受診率83.1% 平成30年度 85名/88名 受診率96.6% 令和元年度 67名/83名 受診率80.7% ・3歳児健診は、3か月に1回実施している。上記乳児健診項目に加え、歯科診察、尿検査、視覚・聴覚問診確認を行っている。 <3歳児健診受診状況（受診者数/対象者数）> 平成28年度 110名/134名 受診率82.1% 平成29年度 105名/117名 受診率89.7% 平成30年度 102名/109名 受診率93.6% 令和元年度 80名/102名 受診率78.4% <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児時期は、発熱や感染症罹患、風邪症状などで体調不良になることが多いため欠席が多くなる状況である。また、そのような症状があった場合は感染拡大防止のため次回健診日を案内している。次回健診日にも体調不良などがある場合は、訪問や個別対応を行っている。訪問や個別対応の場合は、医師の診察や歯科相談などが受けられない状況となっている。 	◎

新主要施策の提案	-
上記を新主要施策として提案する理由	-
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題	
環境変化	乳幼児健診の執務は町内の医師に依頼している。町内医院の閉院などにより依頼できる医師が減っている状況
推進上の課題	乳幼児健診執務医師の減少、今後、大学病院などへの医師派遣委託なども検討する必要あり。

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	乳幼児健診は異常などの早期発見、早期対応の観点から重要度は高い。

施策評価シート (1-2-②)

○基本事項			
1	少子高齢化社会に対応し、安心して暮らせるまちづくり〈健康・福祉の充実〉		
1-2	安心して子どもを産み育てることができる子育て支援の充実		
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもを安心して産み育てることができるよう、妊婦・乳幼児の健康づくりを支援します。 ■ 多様なニーズに対応できる子育て環境の充実を図ります。 ■ 子ども虐待を防止するため、関係機関が連携した体制をつくります。 ■ 子どもに対する医療費負担の軽減を図ります。 			
番号	基本施策	主担当課	関係課
1-2-②	保育・子育て支援の充実	子育て支援課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
地域子育て支援体制の強化	3 やや良好	【成果】 ・子育て支援センター「ひまわりのたね」（H27.11～）開所 ・子育て世代包括支援センター（R2.6～）開所 ・延長保育（短時間）事業（H27.4～）開始 【課題】 ・一時預かり保育、延長保育（標準時間）、病児病後児保育などの実施 ・子ども家庭総合支援拠点整備運営事業の実施に向けての体制づくり（努力目標 R5年3月までに立上げ）※児童虐待防止対策体制総合強化プランに基づく	◎
保育サービス等の充実	2 やや不良	【成果】 ・要個別支援児保育事業補助金（障がい児加配）（H27～） ・私立保育園新規採用保育士就職準備事業補助金（H30～） ・緊急連絡メール配信システム（R1.10～） ・弾力化による定員を超えた園児の受け入れ ・吉隈保育所改修による定員増（90→110）（H28～） 【課題】 ・保育施設の老朽化 ・保育士不足（正規職員の採用） ・待機児童の解消 ・保育事業再編整備計画の立案	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	保育施設の老朽化、共働き世帯の増加による保育希望児の増加		
推進上の課題	保育士（正規職員及び会計年度任用職員ともに確保が困難）不足		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	抜本的見直し	左記判断理由	保育所の民営化、認定こども園などの検討が必要

施策評価シート (1-2-③)

○基本事項			
1	少子高齢化社会に対応し、安心して暮らせるまちづくり〈健康・福祉の充実〉		
1-2	安心して子どもを産み育てることができる子育て支援の充実		
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもを安心して産み育てることができるよう、妊婦・乳幼児の健康づくりを支援します。 ■ 多様なニーズに対応できる子育て環境の充実を図ります。 ■ 子ども虐待を防止するため、関係機関が連携した体制をつくります。 ■ 子どもに対する医療費負担の軽減を図ります。 			
番号	基本施策	主担当課	関係課
1-2-③	子どもの居場所づくりの充実	子育て支援課	健康福祉課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
学童保育体制の充実	3 やや良好	【成果】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習支援事業の開始（H28.2～） ・ 夏休み期間中限定の受け入れ開始（H28.7～） ・ 施設改修（桂寿苑大広間）による利用定員増（200→220）（H30.4～） ・ 利用料減免事業（H30.4～） 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実施施設（桂川小本館、桂寿苑、本校舎余裕教室）の分散 ・ 保育施設（桂川小本館、桂寿苑）の老朽化 ・ 保育施設（本校舎余裕教室）の安定確保 ・ 桂川小学童保育所（本館、校舎、桂寿苑）の分散保育による非効率化 	◎
新主要施策の提案	—		
上記を新主要施策として提案する理由	—		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	・ 共働き世帯の増加による入所希望者の増加		
推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会（学校現場）との連携 ・ 直営の検討（社会福祉協議会に運営委託） 		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	住民ニーズが高い施策であるため ※社協への委託事業（一部委託）として継続するか否かの検討

施策評価シート (1-2-④)

○基本事項			
1	少子高齢化社会に対応し、安心して暮らせるまちづくり〈健康・福祉の充実〉		
1-2	安心して子どもを産み育てることができる子育て支援の充実		
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもを安心して産み育てることができるよう、妊婦・乳幼児の健康づくりを支援します。 ■ 多様なニーズに対応できる子育て環境の充実を図ります。 ■ 子ども虐待を防止するため、関係機関が連携した体制をつくります。 ■ 子どもに対する医療費負担の軽減を図ります。 			
番号	基本施策	主担当課	関係課
1-2-④	児童虐待の防止対策	子育て支援課	健康福祉課 学校教育課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
桂川町子どもネットワーク会議を中心とした虐待防止体制の強化	2 やや不良	【成果】 ・ケース会議、ネットワーク会議の定期開催による関係機関の情報交換及びネットワークの構築 【課題】 ・各ケースの根本的な問題解決に至らない。 ・要保護児童対策地域協議会（子どもネットワーク会議）の調整機関である子育て支援課に常勤調整担当者の配置（努力目標 R5年3月までに配置） ※児童虐待防止対策体制総合強化プランに基づく	◎
新主要施策の提案	－		
上記を新主要施策として提案する理由	－		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	・不登校、DV（ネグレクト、性的、暴力等）、親の養育能力不足、発達障害、ひきこもり等複、問題が複雑かつ多岐に渡り対応が困難になりつつある。		
推進上の課題	・関係機関の連携強化及び専門職の配置等のマンパワー強化		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	要保護児童対策として必要な施策である。

施策評価シート (1-2-⑤)

○基本事項			
1	少子高齢化社会に対応し、安心して暮らせるまちづくり〈健康・福祉の充実〉		
1-2	安心して子どもを産み育てることができる子育て支援の充実		
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもを安心して産み育てることができるよう、妊婦・乳幼児の健康づくりを支援します。 ■ 多様なニーズに対応できる子育て環境の充実を図ります。 ■ 子ども虐待を防止するため、関係機関が連携した体制をつくります。 ■ 子どもに対する医療費負担の軽減を図ります。 			
番号	基本施策	主担当課	関係課
1-2-⑤	子どもの医療制度の充実	保険環境課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
子ども医療費助成の継続・充実	4 良好	<p>【成果】</p> <p>平成28年10月より対象年齢の拡充を実施。令和3年4月より県の対象年齢拡充により、本町でも県拡充分に上乗せして、支援の充実を検討中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 対象者数1,577人、助成費用34,846,289円 ・平成29年度 対象者数1,368人、助成費用36,097,218円 ・平成30年度 対象者数1,331人、助成費用34,881,786円 ・令和元年度 対象者数1,349人、助成費用33,654,504円 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者数の減少 ・子ども医療費助成制度の周知徹底 	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	近年対象者数が減少傾向にあり、また、助成対象の年齢や自己負担金などの制度内容が市町村によって異なり、対象範囲を拡大する自治体が増加している。		
推進上の課題	制度拡充や子育て世代への制度の周知徹底等の取り組みを検討する必要がある。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	子育て世代の経済的負担の軽減、子どもの早期受診による重症化の防止を図ることで、子供の健全な育成及び安心して子供を産み育てることができる環境づくりができるため

施策評価シート (1-3-①)

○基本事項			
1	少子高齢化社会に対応し、安心して暮らせるまちづくり〈健康・福祉の充実〉		
1-3	町民の健康づくり支援		
基本方針			
<p>■ 町民の自主的な健康づくりを促進します。</p> <p>■ 生活習慣病等の疾病予防のため健診等の保健活動を充実します。</p> <p>■ 町民が安心して医療を受けられる身近な地域の医療体制を充実します。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
1-3-①	健康づくりの推進	健康福祉課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
総合福祉センターを核とした健康づくり活動の充実	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康推進係、高齢者・女性係、福祉係が連携し、健康の維持推進、介護予防、障がい者支援に取り組んでいる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護給付費（支出）が増えているため、さらに、早いうちからの健康づくり活動、介護予防活動を推進する必要がある。 	◎
健康増進に向けた意識啓発	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康推進係、高齢者・女性係、福祉係のそれぞれが各事業などを通じて、健診受診の重要性や健康の維持推進、介護予防などの情報提供や意識啓発について呼びかけている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな啓発方法について 	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	多様化する生活様式の進展に伴いより多様性を重視した社会情勢に変化していく。		
推進上の課題	今後増加する高齢者からの多岐にわたる相談に対する対応が必要となる。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	現在の方向性からの変更は必要ないとする。

施策評価シート (1-3-②)

○基本事項			
1	少子高齢化社会に対応し、安心して暮らせるまちづくり〈健康・福祉の充実〉		
1-3	町民の健康づくり支援		
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 町民の自主的な健康づくりを促進します。 ■ 生活習慣病等の疾病予防のため健診等の保健活動を充実します。 ■ 町民が安心して医療を受けられる身近な地域の医療体制を充実します。 			
番号	基本施策	主担当課	関係課
1-3-②	保健活動の充実	健康福祉課	保険環境課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由(成果・課題)	今後の重要度
生活習慣病の予防、特定健診の受診促進 (保険環境課)	3 やや良好	【成果】 令和元年度より、2市1町と飯塚医師会が連携し、糖尿病性腎症の発症、重症化を予防するため、二次健診(微量アルブミン尿検査)を導入した。	◎
各種がん検診の向上	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種がん検診等受診しやすい環境への整備 ①検診実施回数を8回から10回に増加、7月検診開始し月1～2回で実施 ②期間予約から通年予約へ変更 ③特定健診とがん検診の同時実施(年3回実施) ④協会けんぽ被扶養者の特定健診とがん検診の同時実施 ⑤骨粗しょう症検診日程の追加 ⑥口腔がん検診日程の追加 ⑦大腸がん検診容器の配布を期間配布から通年配布へ変更 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自覚症状がないため受診しないという人がいる。各種がんは初期では自覚症状がないということの周知を継続する。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、密を避ける、間隔をあける等の対策をした場合の一回あたりの受診枠の調整 ・各検診定員数調整後の検診日程の確保 	◎

感染症予防対策の推進

3

やや良好

◎

【成果】

・新たに定期接種となる予防接種については、乳幼児健診や各種教室、広報や個人案内等で周知している。

・風しん第5期の定期接種
(平成31年度から3年計画で開始。対象者に風しん抗体検査・予防接種クーポン券を送付)
平成31年度 146名/602名 クーポン利用率 24.3%

・B型肝炎ワクチン(平成28年度から定期接種化)
平成28年度 114名/142名 接種率80.3%
平成29年度 94名/111名 接種率84.7%
平成30年度 103名/130名 接種率79.2%
令和元年度 86名/99名 接種率86.9%

・水痘ワクチン(平成26年度から定期接種化)
平成26年度 160名/236名 接種率67.8%
平成27年度 183名/229名 接種率79.9%
平成28年度 192名/236名 接種率81.4%
平成29年度 168名/208名 接種率80.8%
平成30年度 144名/178名 接種率80.9%
令和元年度 145名/180名 接種率80.6%

・高齢者肺炎球菌接種者(平成26年度から定期接種化)

※過去に接種歴のある人は対象外(定期接種化以前も含む)

※令和元年度より2巡目となる。

対象65歳以上 特例70歳~100歳の節目年齢

<年度毎の接種者数>

平成26年度 464名 平成27年度 417名 平成28年度 517名

平成29年度 468名 平成30年度 444名 令和元年度 162名

<令和元年度末時点接種率>

2,241名/4,560名 49.1%

・高齢者インフルエンザ接種者(65歳以上)

<年度毎の接種者数>

平成28年度 2,509名 平成29年度 2,548名

平成30年度 2,577名 令和元年度 2,732名

<令和2年度末時点接種率>

2,732/4,560名 59.9%

【課題】

・乳幼児の接種率は高いが、高齢者の接種率が低い。

新主要施策の提案	-
上記を新主要施策として提案する理由	-
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題	
環境変化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検診項目や予防接種の種類が増加している。(健康福祉課) ・ 特定健診の対象者数が年々減少傾向が続いており、後期高齢者の割合が年々増加していることから、急速に被保険者の高齢化が進んでいる。(保険環境課)
推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防接種の種類が増加しているため接種時期が複雑となっている。(健康福祉課) ・ 将来の健康を維持するためには、特定健診及び特定保健指導の効果的・効率的かつ着実な実施が必要となる。(保険環境課)

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性 (健康福祉課)	継続実施	左記 判断理由	自覚症状がある場合はがんが進行している恐れがあり、予後にも影響してくる。自覚症状がない時にこそがん検診を受診することで早期発見、早期治療につながるため適切な情報提供など行い、健康づくりを支援する必要がある。また、予防接種で防ぐことができる感染症については積極的に予防接種を行うことで感染防止だけでなく発症後の合併症のリスク軽減につながるため適切な周知の継続が必要
	基本施策の方向性 (保険環境課)	継続実施	左記 判断理由	特定健診を受診し、必要に応じて特定保健指導を利用することにより、メタボリックシンドロームの該当者・予備軍の方の生活習慣病予防や重症化予防を図ることができるため。

施策評価シート (1-3-③)

○基本事項			
1	少子高齢化社会に対応し、安心して暮らせるまちづくり〈健康・福祉の充実〉		
1-3	町民の健康づくり支援		
基本方針			
<p>■ 町民の自主的な健康づくりを促進します。</p> <p>■ 生活習慣病等の疾病予防のため健診等の保健活動を充実します。</p> <p>■ 町民が安心して医療を受けられる身近な地域の医療体制を充実します。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
1-3-③	地域の医療体制の充実	健康福祉課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
地域医療連携体制の整備	4 良好	<p>【成果】</p> <p>・ 地域包括ケアシステムの構築を目指し、2市1町で飯塚医師会と連携し、在宅医療・介護連携推進事業に取り組んでいる。具体的には、飯塚地域在宅医療・介護連携推進会議を行い、その下に3つのワーキンググループを設置し、研修会等を行い、体制整備の構築中。</p> <p>【課題】</p> <p>—</p>	◎

救急医療体制の充実	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅当番医制運営事業 当番医師が、当番日に初期医療が必要な救急患者に対して診療所で診療を行っている。 ・病院群輪番制病院運営事業 地域内の病院群が共同連帯して、輪番制方式により休日、夜間における重症救急患者の診療受け入れを行っている。 ・飯塚休日夜間急患センター運営事業 休日、夜間の診療を行う飯塚急患センターを整備・運営し、地域住民の救急医療を行っている。 飯塚急患センター利用者状況（桂川町住民） 平成27年度 121名 平成28年度 231名 平成29年度 262名 平成30年度 151名 令和元年度 205名 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重症・重篤患者の診察、治療を行う救命急患センターを比較的軽症な患者が受診する場合があります、救急搬送の受け入れができないケースがある。 比較的軽症な患者については在宅当番医が対応する一次救急医療、入院治療が必要な患者については病院群輪番制病院が対応する二次救急医療、重症・重篤な患者については救命救急センターが対応する三次救急医療とそれぞれ分かれています。診療時間外の患者が適切な診察・治療体制が継続できるよう救急医療体制の更なる周知が必要 	◎
-----------	---------	--	---

新主要施策の提案	-
----------	---

上記を新主要施策として提案する理由	-
-------------------	---

○主要施策を取り巻く環境の変化・課題

環境変化	比較的軽症患者が夜間や土日祝日に救命急患センターを多数利用しており、第3次救急医療に支障をきたす事態が生じている。
推進上の課題	救急医療体制の更なる周知、①比較的軽症者対応：在宅当番医が対応する（一次救急医療）。②入院治療が必要な患者対応：病院群輪番制病院が対応する（二次救急医療）。③重症・重篤な患者については救命救急センターが対応する（三次救急医療）。

○基本施策の方向性

今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	一般診療所と専門医、市町村との連携は不可欠であるため継続が必要 診療時間外に体調不良や怪我等で受診が必要となるケースがあるため継続が必要
-----------	----------	------	--------	---

施策評価シート (1-4-①)

○基本事項			
1	少子高齢化社会に対応し、安心して暮らせるまちづくり〈健康・福祉の充実〉		
1-4	高齢者や障がい者がいきいきと安心できる暮らしの支援		
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康でいきいきとした活動を支援します。 ■ 安全・安心な暮らしを支援します。 ■ 共に支え合う地域づくりを支援します。 ■ 介護保険事業計画に基づき、介護保険事業の安定化を目指します。 ■ 障がい者への適切なサービスの提供と自立した生活支援を進めます。 			
番号	基本施策	主担当課	関係課
1-4-①	健康でいきいきとした活動を支援	健康福祉課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
高齢者自らの健康づくりへの環境整備	4 良好	【成果】 ・介護予防教室（体操・認知症予防等）を、センター方式（総合福祉センター等）および地域（公民館・集会所）で実施している。 【課題】 ・全行政区で実施されるように働きかける。	◎
介護予防の推進	4 良好	【成果】 ・認知症カフェなど、新たな介護予防事業に積極的に実施した。 【課題】 ・男性の参加が少ない。多くの方に参加していただき、今後も高齢者の健康寿命の延伸に努める。	◎
生きがいづくりと社会参加の推進	4 良好	【成果】 ・様々な福祉サービスを利用し、社会参加の推進を行った。 【課題】 -	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	今後さらに高齢者の増加が見込まれる。		
推進上の課題	今後増加する高齢者をどのように各種教室に参加を促すかが課題		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	現在の方向性からの変更は必要ないと考える。

施策評価シート (1-4-②)

○基本事項			
1	少子高齢化社会に対応し、安心して暮らせるまちづくり〈健康・福祉の充実〉		
1-4	高齢者や障がい者がいきいきと安心できる暮らしの支援		
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康でいきいきとした活動を支援します。 ■ 安全・安心な暮らしを支援します。 ■ 共に支え合う地域づくりを支援します。 ■ 介護保険事業計画に基づき、介護保険事業の安定化を目指します。 ■ 障がい者への適切なサービスの提供と自立した生活支援を進めます。 			
番号	基本施策	主担当課	関係課
1-4-②	安全・安心な暮らしを支援	健康福祉課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
地域包括支援センターの機能強化	4 良好	【成果】 ・各種の対応について十分な機能が確保できている。 【課題】 ・地域課題に対する協議等	◎
認知症対策の推進	4 良好	【成果】 ・各種の対応について十分な機能が確保できている。 【課題】 ・症状も様々なため、一人暮らし・高齢者のみの世帯等、住み慣れた地域で暮らし続けたい場合の支援	◎
権利擁護・虐待防止対策の強化	4 良好	【成果】 ・各種の対応について十分な機能が確保できている。 【課題】 -	◎
日常生活の支援	4 良好	【成果】 ・制度に沿った適正な事業ができています。 【課題】 -	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	今後、独居高齢者の増加が見込まれる。		
推進上の課題	今後見込まれる独居高齢者の増加に伴い、支援の必要な高齢者の把握や地域との連携。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	現在の方向性からの変更は必要ないと考える。

施策評価シート (1-4-③)

○基本事項			
1	少子高齢化社会に対応し、安心して暮らせるまちづくり〈健康・福祉の充実〉		
1-4	高齢者や障がい者がいきいきと安心できる暮らしの支援		
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康でいきいきとした活動を支援します。 ■ 安全・安心な暮らしを支援します。 ■ 共に支え合う地域づくりを支援します。 ■ 介護保険事業計画に基づき、介護保険事業の安定化を目指します。 ■ 障がい者への適切なサービスの提供と自立した生活支援を進めます。 			
番号	基本施策	主担当課	関係課
1-4-③	ともに支え合う地域づくりを支援	健康福祉課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
一般高齢者福祉施策の充実	3 やや良好	【成果】 ・社会福祉協議会により、全行政区に地域福祉部が設置され活動の支援がなされている。 【課題】 -	◎
ボランティアの育成	3 やや良好	【成果】 ・社会福祉協議会により、ボランティア連絡協議会を運営することにより育成を行っている。 【課題】 ・担い手不足の解消が今後の課題	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	今後、地域での関係性が希薄になることにより、担い手はさらに少なくなる。		
推進上の課題	地域住民の関係性を良好にすることにより自助能力の強化を図ることが課題		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	現在の方向性からの変更は必要ないと考える。

施策評価シート (1-4-④)

○基本事項			
1	少子高齢化社会に対応し、安心して暮らせるまちづくり〈健康・福祉の充実〉		
1-4	高齢者や障がい者がいきいきと安心できる暮らしの支援		
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康でいきいきとした活動を支援します。 ■ 安全・安心な暮らしを支援します。 ■ 共に支え合う地域づくりを支援します。 ■ 介護保険事業計画に基づき、介護保険事業の安定化を目指します。 ■ 障がい者への適切なサービスの提供と自立した生活支援を進めます。 			
番号	基本施策	主担当課	関係課
1-4-④	高齢社会に対応した生活環境づくり	健康福祉課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
福祉バスによる公共交通手段の確保	3 やや良好	【成果】 ・令和2年4月1日より、全4コース及び買物・通院バスに「トライアル」を含むため、コース及び時刻表改正を行った。 【課題】 ・「桂川駅」や「済生会病院」など全コース乗り入れた方が良いと思われるが、ダイヤ改正が難しい。	◎
公共施設のユニバーサルデザイン化	3 やや良好	【成果】 ・各施設において、十分な機能が確保できている。 【課題】 ・「桂寿苑」は老朽化が進んでおり、十分な機能が確保できていない。	◎
住宅環境の改善	3 やや良好	【成果】 ・介護保険制度、健康福祉課、産業振興課において、住宅改修事業が実施されている。 【課題】 -	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	今後、高齢化社会の加速と人口の減少が更に進展する。		
推進上の課題	ニーズの的確な把握と財源の確保		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	現在の方向性からの変更は必要ないとする。

施策評価シート (1-4-⑤)

○基本事項			
1	少子高齢化社会に対応し、安心して暮らせるまちづくり〈健康・福祉の充実〉		
1-4	高齢者や障がい者がいきいきと安心できる暮らしの支援		
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康でいきいきとした活動を支援します。 ■ 安全・安心な暮らしを支援します。 ■ 共に支え合う地域づくりを支援します。 ■ 介護保険事業計画に基づき、介護保険事業の安定化を目指します。 ■ 障がい者への適切なサービスの提供と自立した生活支援を進めます。 			
番号	基本施策	主担当課	関係課
1-4-⑤	障がい者福祉の充実	健康福祉課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
障がい者福祉サービスの充実	4 良好	【成果】 ・国や県の制度に基づいた適切なサービスの運用ができています。 【課題】 ・制度の範囲内で様々なニーズに対応できるようにする。	◎
自立生活・社会参加の支援	4 良好	【成果】 ・国や県の制度に基づいた適切なサービスの運用ができています。 【課題】 ・制度の範囲内で様々なニーズに対応できるようにする。	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	多様化する生活様式の進展に伴い、より多様性を重視した社会情勢に変化していく。		
推進上の課題	障害者の社会参画の推進に伴う様々な制度の改正等		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	現在の方向性からの変更は必要ないと考える。

施策評価シート (2-1-①)

○基本事項			
2	ふるさとを愛し、豊かな心を育む教育と文化のまちづくり（教育文化の振興・人権の尊重）		
2-1	子どもたちが安心して学び、心豊かに育つまちづくり		
基本方針			
<p>■ 「生きる力」を育てる学校の教育内容を充実します。</p> <p>■ 安全で豊かに学べる教育環境を整えます。</p> <p>■ 学校と家庭、地域が連携した開かれた学校づくりを進めます。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
2-1-①	子どもたちへの教育内容の充実	学校教育課	社会教育課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
就学前教育の充実	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼小連携による交流活動、預かり保育の実施 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在園児童の増員を図る。 	◎
「生きる力」の育成	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての教育活動による人権教育を通して生きる力の育成に繋がった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	◎
少人数学級の充実	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かな指導が充実し、基本・基礎の学力向上に繋がっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の人材不足 	◎
セカンドスクール事業の実施	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊体験活動を通して集団活動の大切さを身に付けさせるとともに、「ゆのうら体験の杜」を活用し地域と連携した活動で、地域のよさに気付かせることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	○
情報化教育・国際教育などの充実	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT（外国語指導助手）の活用による外国語活動を行い、英語活動の充実が図られた。情報化教育ではネット構築等の環境整備が図られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報化教育に向けて教職員のスキルアップを図る。 	◎

人権・同和教育の推進	4 良好	【成果】 ・自分を大切にし他人も大切にできる子どもの育成に繋がった。 【課題】 -	◎
「心の教育」の推進	4 良好	【成果】 ・道徳教育等により、学校の目標である「自ら学びたくましく前進する子どもの育成」に繋がった。 【課題】 -	◎
学校給食の充実・食育の推進	3 やや良好	【成果】 ・地場産の食材利用が上がり、地域の食材を利用した給食の充実が図られた。食育については実態把握に努めることができた。 【課題】 ・栄養教諭や町の管理栄養士とも連携し学校における食育の推進を図る。肥満傾向の児童が10%いる。	◎
社会体験等体験学習の推進	4 良好	【成果】 ・キャリア教育のなかで、中2年生の3日間の職場体験学習や小学生と嘉穂総合高校との交流等を通して望ましい勤労観、職業観を育てる取り組みを行った。 【課題】 -	◎

新主要施策の提案	-
----------	---

上記を新主要施策として提案する理由	-
-------------------	---

○主要施策を取り巻く環境の変化・課題

環境変化	小・中学校における新学習指導要領の実施
推進上の課題	教育環境整備のための学資化

○基本施策の方向性

今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	豊かな心を持った子どもの育成には、教育環境の充実が必要であるため
-----------	----------	------	--------	----------------------------------

施策評価シート (2-1-②)

○基本事項			
2	ふるさとを愛し、豊かな心を育む教育と文化のまちづくり（教育文化の振興・人権の尊重）		
2-1	子どもたちが安心して学び、心豊かに育つまちづくり		
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 「生きる力」を育てる学校の教育内容を充実します。 ■ 安全で豊かに学べる教育環境を整えます。 ■ 学校と家庭、地域が連携した開かれた学校づくりを進めます。 			
番号	基本施策	主担当課	関係課
2-1-②	豊かに学べる教育環境の整備・充実	学校教育課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
学校施設・設備の整備	4 良好	【成果】 ・空調設備、トイレ改修工事を行い課題となっていた施設整備に一定の成果は得られた。 【課題】 ・早い時期に長寿命化に向けての計画が必要	◎
特別支援教育の充実	4 良好	【成果】 ・特別支援教育支援員を配置し、個の能力の伸長と落ち着いた学級生活が図られている。 【課題】 ・今年度から開設された中学校の通級指導教室の支援策を学校現場と連携を図っていく。	◎
いじめ・不登校等への対応の充実	3 やや良好	【成果】 ・スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの設置により不登校の児童や保護者の支援が図られている。不登校傾向は早期介入が必要で、2年度からスクールソーシャルワーカーの活用時間が拡大したことで、小学校からの関わりができています。 【課題】 ・いじめについては、先生方の取り組みや見守りにより終息しているが、不登校・不登校傾向では、きめ細かな対応を図るために、更なる支援策が必要	◎
教育指導体制の充実	3 やや良好	【成果】 ・学校教育指導主幹の配置により学校教育活動全般の指導、助言にあたり、指導体制の充実が図られた。 【課題】 -	◎

通学路の環境整備	4 良好	【成果】 ・通学路安全推進会議を中心に通学路の点検等を行い改善を図った。 【課題】 ・警察などの関係機関との予算の調整が生じるため段階を追って改善となる。（信号機の設置など）	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	個別施設計画の策定		
推進上の課題	学校施設の在り方から、学校施設の長寿命化の方向性でいく協議が必要		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	拡大して実施	左記判断理由	学校の老朽化により建物管理の対策が必要

施策評価シート (2-1-③)

○基本事項			
2	ふるさとを愛し、豊かな心を育む教育と文化のまちづくり〈教育文化の振興・人権の尊重〉		
2-1	子どもたちが安心して学び、心豊かに育つまちづくり		
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 「生きる力」を育てる学校の教育内容を充実します。 ■ 安全で豊かに学べる教育環境を整えます。 ■ 学校と家庭、地域が連携した開かれた学校づくりを進めます。 			
番号	基本施策	主担当課	関係課
2-1-③	地域の協力による学校運営の充実	学校教育課	社会教育課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
学校開放日の拡充とそのPR	3 やや良好	【成果】 ・各学校が設定している土曜授業で地域住民等に開かれた学校づくりを推進した。 【課題】 ・時代の流れの中で、土曜授業の在り方の検討が必要、今後の拡充の必要性も検討	○
学校や家庭、地域との連携協力の推進	4 良好	【成果】 ・学校支援地域本部を立ち上げ、様々な学校支援活動を実施。主なものとして「生き生き桂川っ子」を通して地域連携し「桂川町が目指す子ども像」の実現に貢献できた。 【課題】 -	◎
学校教育と社会教育の連携・融合の推進	4 良好	【成果】 ・アンビシャス広場事業で放課後児童の見守りを行った。 【課題】 ・事業推進の後継者の発掘	○
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	学校の安全性を確保するなかでの学校開放日の拡充		
推進上の課題	土曜授業の積極的なPRは検討		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	ふるさとを愛し健全な子供を育てる社会づくりとなる取り組みであるため

施策評価シート (2-2-①)

○基本事項			
2	ふるさとを愛し、豊かな心を育む教育と文化のまちづくり（教育文化の振興・人権の尊重）		
2-2	ふるさとを愛する健全な子どもを育てる社会づくり		
基本方針			
<p>■ ふるさとの良さを学び、地域における体験活動や社会参加を推進します。</p> <p>■ 地域ぐるみで青少年の健全育成に努めます。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
2-2-①	社会体験・社会参加活動の推進	社会教育課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
アンビシャス活動による体験学習活動の充実	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各塾への参加を通じて、体験活動ができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各塾の講師は高齢者が多く、後継者の確保が必要 	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	<ul style="list-style-type: none"> 少子化の継続 習い事の増加による、個人の選択肢の増加 新型コロナウイルス感染拡大防止のソーシャルディスタンスの励行による室内での人数制限 		
推進上の課題	少子化及び習い事の増加により、参加者の減少が見込まれる。また新生活様式の導入に伴い、事業実施時のソーシャルディスタンスの励行により、室内での実施は参加者の減少が懸念される。各塾の講師は高齢者が多く、後継者の確保が必要		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	様々な体験活動を通じて、成長過程の一助となるため

施策評価シート (2-2-②)

○基本事項			
2	ふるさとを愛し、豊かな心を育む教育と文化のまちづくり〈教育文化の振興・人権の尊重〉		
2-2	ふるさとを愛する健全な子どもを育てる社会づくり		
基本方針			
<p>■ ふるさとの良さを学び、地域における体験活動や社会参加を推進します。</p> <p>■ 地域ぐるみで青少年の健全育成に努めます。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
2-2-②	青少年の健全育成	社会教育課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
地域ぐるみでの青少年健全育成体制の推進	4 良好	<p>【成果】</p> <p>・ 青少年問題協議会での情報共有、補導員会による夜間補導等を実施し、青少年健全育成に努めた。</p> <p>【課題】</p> <p>-</p>	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	SNSを通じてのコミュニケーションの増加		
推進上の課題	SNSによるトラブルや犯罪に巻き込まれるなど、情報化社会の弊害が懸念される。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	地域における見守りは必要であるため

施策評価シート (2-2-③)

○基本事項			
2	ふるさとを愛し、豊かな心を育む教育と文化のまちづくり（教育文化の振興・人権の尊重）		
2-2	ふるさとを愛する健全な子どもを育てる社会づくり		
基本方針			
<p>■ ふるさとの良さを学び、地域における体験活動や社会参加を推進します。</p> <p>■ 地域ぐるみで青少年の健全育成に努めます。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
2-2-③	ふるさとへの愛着心の向上	社会教育課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
王塚古墳の学習機会の充実	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セカンドスクール、施設見学などで古墳館見学 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セカンドスクール以外での学習機会が減少 ・学習のための教材の検討など、効果的な機会の活用への取り組みが必要 	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	金比羅山古墳の県史跡指定、天神山古墳の調査、窯跡が確認できたコノマ遺跡など埋蔵文化財の新しい情報が増加していること。小学校での地元学習、セカンドスクールでの体験活動など、王塚古墳を中心に、町内の文化財を幅広く学ぶための窓口となるものは増加していると考えている。		
推進上の課題	新しい発見や新しい体験活動メニューなど、学習のための教材化が課題		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	上記環境変化を踏まえ、課題に取り組むべきと考えている。

施策評価シート (2-3-①)

○基本事項			
2	ふるさとを愛し、豊かな心を育む教育と文化のまちづくり（教育文化の振興・人権の尊重）		
2-3	町民の豊かな心を育むまちづくり		
基本方針			
<p>■ 幅広い町民が学ぶことができる生涯学習機会を充実します。</p> <p>■ 特色ある図書館運営を図ります</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
2-3-①	生涯学習機会の充実	社会教育課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
社会教育施設を拠点とした学習機会の拡大	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設を活用して、夢・人・未来塾やひまわりアンビシャスを実施した。ことぶき大学では、学校に訪問して児童と世代間交流を実施した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民のニーズを検討する必要がある。高齢者対象の事業では、健康福祉課や社会体育と重複する場合があります。町としての効率を検討した方がよいと思われる。 	◎
地域人材を活用した生涯学習支援体制の確立	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンビシャス運動の講師やボランティアとして活動してもらった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材登録の制度の整備が不十分であった。登録制度の見直しが必要 	◎
世代間交流の推進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ことぶき大学での昔遊びや、通学合宿のスタッフとして調理や食事などの交流を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核家族化が進む中で、様々な年代の人との交流は必要であるが、学校の時間中に実施するものは、学校との調整で可能であるが、それ以外は習い事の増加や保護者の生活時間の都合など、児童の時間を確保するのが困難になっている。 	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	<ul style="list-style-type: none"> ・習い事の増加による、個人の選択肢の増加 ・就労年齢が高くなりボランティア活動の時間を確保できる高齢者の減少が予想される。 ・新しい生活様式の導入に伴うソーシャルディスタンスの励行による室内での人数制限 		
推進上の課題	<p>少子化及び習い事の増加により、参加者の減少が見込まれる。また新しい生活様式の導入に伴い、事業実施時のソーシャルディスタンスの励行により、室内での実施は参加者の減少が懸念される。高齢者対象の事業では、健康福祉課や社会体育と重複するものもあり、町としての効率を検討した方がよいと思われる。</p>		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	生涯学習の機会は、町民に提供していく必要があるため

施策評価シート (2-3-②)

○基本事項			
2	ふるさとを愛し、豊かな心を育む教育と文化のまちづくり〈教育文化の振興・人権の尊重〉		
2-3	町民の豊かな心を育むまちづくり		
基本方針			
<p>■ 幅広い町民が学ぶことができる生涯学習機会を充実します。</p> <p>■ 特色ある図書館運営を図ります</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
2-3-②	図書館活動の充実	社会教育課	学校教育課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
読み聞かせ等図書館サービスの充実	3 やや良好	<p>【成果】</p> <p>・ブックスタート等時のボランティアによる読み聞かせ及び絵本の配布は、読み聞かせの大切さに気づくとともに、図書館利用にも繋がっている。主催事業での読み聞かせやミニミニおはなし会等も参加者には好評である。</p> <p>【課題】</p> <p>・習い事をしている児童が多いせいか、主催事業の読み聞かせの参加者が減少している。広報の方法を要検討</p>	◎
学校や近隣施設との連携強化	3 やや良好	<p>【成果】</p> <p>・年3回の学校司書との連絡会での情報交換をはじめ、図書館システムの共有化が図られている。町内の福祉施設や学童、公民館等に団体貸出を定期的に行い好評を得ている。</p> <p>【課題】</p> <p>・各行政区の公民館への団体貸出の拡充</p>	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	嘉飯圏域定住自立圏連携事業として、平成30年10月より飯塚市・嘉麻市・桂川町での広域利用開始となった。広域利用による図書館利用拡大に繋がっている。今後も継続し拡充したい。		
推進上の課題	現在の広域利用は、予約・リクエストができない。利用者のニーズ状況を見ながら、嘉飯圏域内での検討が必要と考える。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	乳幼児から高齢者まで幅広く利用できる図書館を維持継続するため

施策評価シート (2-4-①)

○基本事項			
2	ふるさとを愛し、豊かな心を育む教育と文化のまちづくり〈教育文化の振興・人権の尊重〉		
2-4	町民がスポーツ・レクリエーションに親しむまちづくり		
基本方針			
<p>■ 既存のスポーツ・レクリエーション施設の環境を維持・充実します。</p> <p>■ 町民ニーズに応じたスポーツ活動とスポーツを通じた交流を充実します。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
2-4-①	スポーツ・レクリエーション施設の有効活用	社会教育課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
社会体育施設の維持・充実	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツ活動の場の有効活用を図り、また、老朽化が進む施設の修繕を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進み突発的な修繕が必要となっている。 	○
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	-		
推進上の課題	修繕で対応しているが老朽化がかなり進んでいる。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	スポーツは心身の健康の保持増進に不可欠であるため

施策評価シート (2-4-②)

○基本事項			
2	ふるさとを愛し、豊かな心を育む教育と文化のまちづくり〈教育文化の振興・人権の尊重〉		
2-4	町民がスポーツ・レクリエーションに親しむまちづくり		
基本方針			
<p>■ 既存のスポーツ・レクリエーション施設の環境を維持・充実します。</p> <p>■ 町民ニーズに応じたスポーツ活動とスポーツを通じた交流を充実します。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
2-4-②	町民ニーズに応じたスポーツ活動とスポーツを通じた交流活動の充実	社会教育課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
スポーツ講座の充実	3 やや良好	【成果】 ・幅広い年齢層にあった各種スポーツ教室を実施 【課題】 ・各種スポーツ教室への参加者の向上	○
指導体制の充実	3 やや良好	【成果】 ・定期的に会議を開いた。また、研修等に参加し指導力の向上や運営に生かした。 【課題】 ・スポーツ実施率の向上	○
スポーツイベントの開催	3 やや良好	【成果】 ・生涯スポーツの普及と体力・運動能力向上のための各種スポーツ大会を開催 【課題】 ・各種スポーツ大会への参加者の向上	○
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	新型コロナウイルス感染症の発生		
推進上の課題	新たな生活様式の推奨とスポーツ大会等開催の整合性		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	中長期に渡り感染症対策と向き合う中で身体的及び精神的な健康を維持する上では必要

施策評価シート (2-5-①)

○基本事項			
2	ふるさとを愛し、豊かな心を育む教育と文化のまちづくり〈教育文化の振興・人権の尊重〉		
2-5	地域の歴史文化と新しい町民文化が生きるまちづくり		
基本方針			
<p>■ 地域の文化遺産を保護し、有効に活用します。</p> <p>■ 町民の文化活動を支援し、活性化を図ります。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
2-5-①	文化遺産の保護・活用	社会教育課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
文化財の保存・活用	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 王塚古墳の特別公開実施、保存活用計画策定 金比羅山古墳の調査・報告書刊行と県史跡指定 コノマ遺跡ほか埋蔵文化財の調査 土師獅子舞ほか民俗文化財の調査 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別公開において、新型コロナウイルス等、感染症への対策 保存活用計画策定を受けた、整備計画など活用の強化の取り組み 天神山古墳ほかの重要遺跡の調査・報告書刊行と史跡指定への計画的取り組み 土師獅子舞を含む民俗文化財の後継者不足と存続などの課題、保存のための調査、記録の取り組み 	◎
王塚装飾古墳館の充実	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多言語解説の整備、映像機器の更新と一部ソフトの追加、展示室内の一部のLED化 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開館後25年が経過した常設展示の情報が更新できていないこと、照明や空調などの機器の老朽化、蛍光灯を使用している部分のLED化 	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化		<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に王塚古墳保存活用計画を策定、王塚古墳の再整備の取り組みを進めている。 金比羅山古墳、天神山古墳など、王塚古墳周辺の遺跡の調査の進展と新しい知見の増加 	
推進上の課題		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスに対する新しい生活様式にのっとった公開活用の検討 老朽化したハードの更新 民俗文化財を含め、取り組みの後継者に関する課題 	

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	保存活用計画の策定や天神山古墳の報告書作成などを基礎に、活用の取り組みを進めていく必要がある。

施策評価シート (2-5-②)

○基本事項			
2	ふるさとを愛し、豊かな心を育む教育と文化のまちづくり〈教育文化の振興・人権の尊重〉		
2-5	地域の歴史文化と新しい町民文化が生きるまちづくり		
基本方針			
<p>■ 地域の文化遺産を保護し、有効に活用します。</p> <p>■ 町民の文化活動を支援し、活性化を図ります。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
2-5-②	町民の芸術文化活動の支援	社会教育課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
町民文化活動の充実	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 桂川町文化連合会を中心に、自主的なサークル活動が実施された。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各団体とも会員の高齢化が進み、今後の運営が懸念される。 	◎
文化芸術鑑賞機会の充実	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ふくおか県民文化祭事業として実施し、演奏会等を開催し好評を得ている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収入の大半が県と町からの補助金であるため、今後の補助金額によっては、開催の有無が懸念される。 	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	文化連合会登録団体会員は高齢化、また就労年齢が高くなりサークル活動の時間を確保するのが難しい状況になる。		
推進上の課題	町民文化活動の充実は、文化連合会登録団体会員の高齢化が進み、今後の運営が懸念される。文化芸術鑑賞機会の充実は、収入の大半が県と町からの補助金であるため、今後の補助金額によっては、開催の有無が懸念される。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	「文化の薫り高い心豊かなまちづくり」の基本となるため

施策評価シート (2-6-①)

○基本事項			
2	ふるさとを愛し、豊かな心を育む教育と文化のまちづくり（教育文化の振興・人権の尊重）		
2-6	人権が尊重される地域社会づくり		
基本方針			
<p>■ “人権文化の町づくり”の創造を目指し、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けて、総合的な人権教育・人権啓発を推進します。</p> <p>■ 女性があらゆる分野に参画し、男女がともに輝くまちづくりを目指す男女共同参画社会の形成を推進します。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
2-6-①	人権教育・啓発の推進	社会教育課	健康福祉課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
人権・同和問題教育・啓発活動の推進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月に行う市民講座「人権講演会」や10月から11月に行う人権・同和問題地域懇談会を開催した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会環境や価値観の変化に伴って、性的少数者や犯罪被害者への人権問題、インターネット上での誹謗中傷など新たな人権問題が起きている。多様化・複雑化している人権問題について、より一層の取り組みが課題である。 	◎
ドメスティック・バイオレンス対策の推進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権・同和問題地域懇談会において、DVについても啓発し、町民に問題提起した。（社会教育課） ・ 人権センターでの人権相談窓口や健康福祉課での相談窓口を通じて、警察等の各関係機関と連携を図り対策を行っている。（健康福祉課・社会教育課） <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DVについての啓発方法など課題がある。（社会教育課） ・ 相談窓口の周知（社会教育課） ・ 地域活動の担い手である民生委員等との連携を通し、総合的な対策の推進が課題である。（健康福祉課・社会教育課） 	○
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	2016年に「障害を理由とする差別の解消に関する法律」、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」、「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行された。2019年12月に「桂川町部落差別の解消の推進に関する条例」を施行した。		
推進上の課題	推進していくにあたり、相談事業が重要と考える。相談体制を充実させるための取組みが課題となる。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	人権が尊重されるまちづくりを推進するため、継続した啓発が必要である。

施策評価シート (2-6-②)

○基本事項			
2	ふるさとを愛し、豊かな心を育む教育と文化のまちづくり（教育文化の振興・人権の尊重）		
2-6	人権が尊重される地域社会づくり		
基本方針			
<p>■ “人権文化の町づくり”の創造を目指し、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けて、総合的な人権教育・人権啓発を推進します。</p> <p>■ 女性があらゆる分野に参画し、男女がともに輝くまちづくりを目指す男女共同参画社会の形成を推進します。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
2-6-②	男女共同参画社会の確立	健康福祉課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
男女共同参画啓発活動の推進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飯塚市、嘉麻市、桂川町、民間企業による共同開催事業を実施 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集客が少ないこと。 	◎
女性の社会参画の促進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飯塚市、嘉麻市、桂川町の共同開催による事業「イクボスセミナー」等の実施 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 	○
女性の管理職への登用の促進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飯塚市、嘉麻市、桂川町の共同開催による事業「女性のキャリアアップセミナー」等の実施 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 	○
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	男女の違いだけでなくLGBT等の様々な性のあり方について幅広い対応が求められる。		
推進上の課題	社会生活と私生活のワークライフバランスの確立により男女の格差の解消を行う。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	今後も継続して、男女が仕事も家庭もともに担う社会づくりの推進が必要

施策評価シート (3-1-①)

○基本事項			
3	環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり		
3-1	人と自然が共生するまちづくり		
基本方針			
<p>■ 町民と行政がともに環境負荷の少ないまちづくりを推進します。</p> <p>■ 町民が豊かな自然を親しみ、守る環境をつくります。</p> <p>■ 町民の憩いの場としての公園の充実を図ります。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
3-1-①	地球温暖化対策の推進	保険環境課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
地球温暖化対策実行計画の策定	1 不良	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画策定に向けて、第2次桂川町環境基本計画を策定し方向性を示した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 策定に向け、計画対象区域（施設）を検討する必要があるが、一係として推進していくには難しい。 	×
町民、事業者、行政の協働による環境への負荷低減対策の推進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> エコファミリーの登録者を増やし省エネ活動を推進した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 省エネや、自然の保全等、環境負荷の低減対策の推進 	○
新主要施策の提案	空き家・空地からの雑草対策及び、それに起因する蚊等の害虫対策		
上記を新主要施策として提案する理由	近年、管理者が遠方に住んでいる等の理由で管理が行き届いていない空き家及び、空地が増加しており、雑草や害虫に対する近隣住民からの苦情が増えているため		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	町民の環境等への関心が低下する可能性がある。		
推進上の課題	今後も更なる町民参加による自然環境・景観の保全活動につなげていくためにも、町民が自然とふれあうことのできる機会の創出が必要となる。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	環境に配慮した安全・快適な生活環境づくりを継続して推進していくため。

施策評価シート (3-1-②)

○基本事項			
3	環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈生活環境の整備〉		
3-1	人と自然が共生するまちづくり		
基本方針			
<p>■ 町民と行政がともに環境負荷の少ないまちづくりを推進します。</p> <p>■ 町民が豊かな自然を親しみ、守る環境をつくります。</p> <p>■ 町民の憩いの場としての公園の充実を図ります。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
3-1-②	自然環境保全活動の充実	保険環境課	企画財政課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
環境美化活動の推進	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回の環境美化活動を行政区単位で進めてきた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も行政区単位で継続して行うための環境づくり 	◎
環境教育・環境学習の推進	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桂川町地区衛生組合連合会を対象に3R（リデュース・リユース・リサイクル）研修会を実施した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境情報の収集の更なる推進 	○
町民が自然にふれあう場づくり	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「打ち水大作戦」の際に川に住む生物を実際に園児に観察してもらうなどして環境への理解を深めてもらった。また、こどもエコクラブへの参加登録を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆのうら体験の杜で開催される自然関する事業への参画ができなかったため、こどもエコクラブを利用した自然とふれあう機会を増やしたい。 	○

町民が自然にふれあう場づくり (企画財政課)	3 やや良好	【成果】 ・シルバー人材センターや造園業者への委託により、除草、樹木伐採・消毒などを行っている。 ・やすらぎの森湯の浦公園内にゆのうら体験の杜オープンH30.8 【課題】 ・除草は、地域住民（寿命公園）やボランティア（西田清流公園、湯の浦公園弥山岳）によるものもあるので、その継続	○
---------------------------	------------------	--	---

新主要施策の提案	-
上記を新主要施策として提案する理由	-
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題	
環境変化	町民の環境等への関心の低下する可能性がある。
推進上の課題	町民の環境への関心を低下させないために、啓発活動を推進する必要がある。

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	環境保全の意識を共有し、自然環境の保全に努めるため

施策評価シート (3-1-③)

○基本事項			
3	環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈生活環境の整備〉		
3-1	人と自然が共生するまちづくり		
基本方針			
<p>■ 町民と行政がともに環境負荷の少ないまちづくりを推進します。</p> <p>■ 町民が豊かな自然を親しみ、守る環境をつくれます。</p> <p>■ 町民の憩いの場としての公園の充実を図ります。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
3-1-③	公園・緑地の整備	企画財政課	健康福祉課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
緑地等の環境整備	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発行為の際には開発面積の3%以上の緑地を設けてもらうように協議している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発行為により譲渡を受けた緑地の維持管理 	○
公園の維持管理	2 やや不良	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設事業課の作業員や、業者委託により公園の除草や樹木の伐採などを行っている。遊具の簡易な修繕なども行っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 予算や作業員のスケジュールの都合により、頻繁に除草などを行うことが難しい。今後は、定期的に除草などを行うことが望ましい。 	◎
新主要施策の提案	王塚装飾古墳館の広場に子供向きの遊具やお年寄り向きの健康遊具などを設置する。		
上記を新主要施策として提案する理由	現在でも、小さな子供を連れた家族や周辺を散歩したり、ランニングしている高齢者も多い。その場所に遊具や健康遊具などがあることにより、より質の良い遊び場や健康づくりが出来る場を提供できると考えている。小さな子供から高齢者が集うコミュニティの場となり得ると考える。（王塚装飾古墳館の広場は定期的に業者が除草などを行うため、常に良い緑地である。）		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	町内に数多くの公園などはあるが、遊具などは劣化が進み、維持管理が困難となっている。		
推進上の課題	多くの公園に遊具を新設することは費用がかかり難しく、維持管理も困難であるため、公園の箇所を絞り遊具などを設置する必要があると考える。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	拡大して実施	左記判断理由	町民の健康増進の場や子供が楽しめる遊び場として、緑地や公園が整備されていることは、移住定住促進に必要なことであるため

施策評価シート (3-2-①)

○基本事項			
3	環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈生活環境の整備〉		
3-2	きれいで住みやすい環境づくり		
基本方針			
<p>■ 環境に配慮した適正なごみ処理体制の維持と、より広域的な体制の構築に努めます。</p> <p>■ ごみの減量化・資源化を推進します。</p> <p>■ し尿の適正な処理体制を維持します。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
3-2-①	環境に配慮したごみの適正処理	保険環境課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
広域的なごみ処理体制の構築	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成31年4月よりふくおか県央環境広域施設組合が発足した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域的処理が円滑に進むよう環境施設等整備基本構想や一般廃棄物処理基本計画の策定を行う。 	◎
ごみ分別収集体制の整備	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定されたごみの分別を実施するように、町民への指導や啓発を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> さらなる効果的な分別を行うために、町民への指導や啓発を行う。 	◎
不法投棄防止対策の強化	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内パトロールの実施し抑止に努めた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 繰り返される不法投棄現場には、監視カメラを設置するなどの対策を行う。 	○
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	環境保全に対する意識が高まる中、ごみ収集に関しても、将来的に分別収集品目が増加したりごみの再資源化への意識が高まるとされる。		
推進上の課題	ごみの減量化・リサイクルを推進するとともに、不法投棄の防止対策をとる必要がある。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	環境に配慮した安全・快適な生活環境づくりを継続して推進していくため

施策評価シート (3-2-②)

○基本事項			
3	環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈生活環境の整備〉		
3-2	きれいで住みやすい環境づくり		
基本方針			
<p>■ 環境に配慮した適正なごみ処理体制の維持と、より広域的な体制の構築に努めます。</p> <p>■ ごみの減量化・資源化を推進します。</p> <p>■ し尿の適正な処理体制を維持します。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
3-2-②	ごみの減量化・資源化の推進	保険環境課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
リサイクル活動の推進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル用収納ボックスの活用に努め、資源ごみ回収量の増加に繋がった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域のリサイクル活動を支援するため、町奨励金の更なる周知 	◎
生ごみ処理対策の推進	2 やや不良	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭から排出される生ごみの発生を抑制するために、生ごみ処理容器及び電動生ごみ処理機の助成を行い、再資源化や生ごみの減量化に努めた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスの削減にむけた効果的な方法をや情報を収集し更なる啓発活動に繋げたい。 	○
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	リサイクル活動団体の収集量の減少		
推進上の課題	各地域のリサイクル活動の活性化を図ること		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	環境に配慮した安全・快適な生活環境づくりを継続して推進していくため。

施策評価シート (3-2-③)

○基本事項			
3	環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈生活環境の整備〉		
3-2	きれいで住みやすい環境づくり		
基本方針			
<p>■ 環境に配慮した適正なごみ処理体制の維持と、より広域的な体制の構築に努めます。</p> <p>■ ごみの減量化・資源化を推進します。</p> <p>■ し尿の適正な処理体制を維持します。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
3-2-③	し尿の適正処理の推進	保険環境課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
し尿を含めた生活排水の適正処理	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活排水処理計画及び汚水処理構想に基づき、町民への合併浄化槽設置を推進した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併処理浄化槽の普及率は令和2年3月末で41%となっている、今後も更なる普及率の向上に努めたい。 	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	環境保全に対する意識が高まる中、水資源についても更なる安定した水環境の実現にむけた関心が高まると思われる。		
推進上の課題	水資源を守るため、町民、事業者に対して理解を深めてもらえるよう、適切に情報提供をすることが課題		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	環境に配慮した安全・快適な生活環境づくりを継続して推進していくため。

施策評価シート (3-3-①)

○基本事項			
3	環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈生活環境の整備〉		
3-3	安全な水の安定供給と下水処理環境の整ったまちづくり		
基本方針			
<p>■ 安定した供給のできる上水道の環境を維持します。</p> <p>■ 健全な污水处理環境を計画的に整えていきます。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
3-3-①	安定した水道利用ができる環境づくり	水道課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
桂川町上水道事業基本計画に基づく施設改善の推進	1 不良	【成果】 ・計画に基づく施設改善の推進を行えていない。 【課題】 ・更新費用の確保	◎
水源及び施設の維持・確保	3 やや良好	【成果】 ・適宜、可能な修繕・更新を行っている。 【課題】 ・精通した人材の育成・確保	◎
水資源に対する町民意識の啓発	2 やや不良	【成果】 ・通常時における水資源については、配水能力に余裕のある状況なため、渇水時における啓発を行った。 【課題】 ・特段の成果は見られない。	×
新主要施策の提案	広域化への模索		
上記を新主要施策として提案する理由	施設改善の推進には、多額の費用確保のため、水道利用者への料金負担の増加が必要である。広域化により改善費用の縮減や水道利用者の料金負担の軽減が図られる。		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	国・県による広域化の推奨、人口減少に伴う給水量、給水収益の低下		
推進上の課題	関係水道事業者との調整		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	抜本的見直し	左記判断理由	<p>・施設改善の推進には、多額の費用を要するため</p> <p>・水資源の啓発については、配水能力に余裕のある状況で、かつ、人口減少や節水機器の普及に伴う給水量の継続的な減少が予想される現状では、特段の必要性を要しない。</p>

施策評価シート (3-3-②)

○基本事項			
3	環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈生活環境の整備〉		
3-3	安全な水の安定供給と下水処理環境の整ったまちづくり		
基本方針			
<p>■ 安定した供給のできる上水道の環境を維持します。</p> <p>■ 健全な污水处理環境を計画的に整えていきます。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
3-3-②	適正な污水处理環境の整備	保険環境課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
合併処理浄化槽の整備による生活排水の適正処理の推進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活排水処理計画及び污水处理構想に基づき、町民への合併浄化槽設置を推進した結果、合併処理浄化槽の普及率は令和2年3月末で41%となっており、生活排水処理基本計画における目標37%を上回っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併処理浄化槽の普及率は令和2年3月末で41%となっている。今後も更なる普及率の向上に努めたい。 	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	環境保全に対する意識が高まる中、水資源についても更なる安定した水環境の実現にむけた意識が高まると思われる。		
推進上の課題	水資源を守るため、町民、事業者に対して理解を深めてもらえるよう、適切に情報提供をすることが課題		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	環境に配慮した安全・快適な生活環境づくりを継続して推進していくため。

施策評価シート (3-4-①)

○基本事項			
3	環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈生活環境の整備〉		
3-4	快適な住宅環境づくり		
基本方針			
<p>■ 人口の定住化につながる快適な住宅環境を整備します。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
3-4-①	快適な住宅環境の実現	建設事業課	企画財政課 総務課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
町営住宅建替の推進	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二反田団地A棟（36戸）を建設し、既存の老朽住宅の集約化が進んでいる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、B棟の建設に着手する。集約対象となっている団地の残存世帯数を考慮して計画を進める。 	◎
町営住宅の適正な管理及び改善の促進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画（H24.3月）に従い、継続使用とする住戸について修繕しながら維持管理している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続使用としていた団地のうち、耐用年数に至るものが出てくるため、長寿命化計画の見直す必要がある。 	○
宅地分譲の推進（企画財政課）	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、広報、各種イベントでのチラシ配布を行い、旭ヶ丘団地15区画販売 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残り5区画の早期完売。 	○
民間住宅の環境改善の促進（企画財政課）	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発行為の事前協議（1,000㎡以上）により指導 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> － 	○
空家等対策計画の策定（総務課）	2 やや不良	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に空家実態調査を実施した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空家になったときに、どのように処分（解体・売却）するのか決めていない人が多い。 	○

新主要施策の提案	—
上記を新主要施策として提案する理由	—
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題	
環境変化	<ul style="list-style-type: none"> ・町営住宅の老朽化の進行。既存の町営住宅における使用世帯数の減少 ・空家件数が増加している。中でも管理する人がいない空家は、住環境に影響がある。（総務課）
推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町営住宅長寿命化計画および建替え計画の見直しが必要となることが想定される。 ・計画の策定を含め、今後の取組みの方向性が決まっていない。（総務課）

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	現在の施策方針で、ある程度の成果を得ているため
	基本施策の方向性 (総務課)	継続実施	左記判断理由	これ以上危険な空家を増やさないため

施策評価シート (3-5-①)

○基本事項			
3	環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈生活環境の整備〉		
3-5	安全・安心に暮らせるまちづくり		
基本方針			
<p>■ 町民の防災意識を高め、各種災害に対応できる防災体制を整えます。</p> <p>■ 交通安全対策、防犯対策、消費者生活相談を充実します。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
3-5-①	防災意識の高揚と防災体制の充実	総務課	健康福祉課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
防災意識の啓発と防災体制の整備	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内全域に自主防災組織が設置された。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の役員等は、防災意識が高いが、役員以外の方は、意識の醸成が図られていない。 	○
要援護者対策の充実（健康福祉課）	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者名簿を整備した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民生委員の有無などで名簿の活用に差がある。 	◎
消防施設及び体制の維持・強化	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽化した消防格納庫の整備及び桂川駅南側に防火水槽を設置した。 消防団に女性班を設置し、広報活動や応急活動など、消防団員の活動の幅が広がった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内老朽化した消防施設が多くあることと、消防団員の新規入団者が確保できていない。 	○
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	頻発する自然災害がさらに増える。		
推進上の課題	自主防災組織により防災意識、活動内容に差がある。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	住民の安心・安全な生活の確保のため

施策評価シート (3-5-②)

○基本事項			
3	環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈生活環境の整備〉		
3-5	安全・安心に暮らせるまちづくり		
基本方針			
<p>■ 町民の防災意識を高め、各種災害に対応できる防災体制を整えます。</p> <p>■ 交通安全対策、防犯対策、消費者生活相談を充実します。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
3-5-②	町民生活を守る安全対策の充実	総務課	建設事業課 産業振興課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由(成果・課題)	今後の重要度
交通安全対策の推進(建設事業課)	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全プログラム、地元からの要望等を参考に、継続的に推進して危険個所の改善に努めている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 	○
防犯対策の推進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども110番や青バト、ながら防犯などを町全体で防犯活動に取り組んだ。 不審者や詐欺などの情報を防災無線を使って呼びかけた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 戸締りの徹底や詐欺情報などを広報し、防犯意識の向上が求められる。 	○
消費者生活相談の充実(産業振興課)	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域的な窓口である「消費生活相談センター」にて、飯塚市・嘉麻市・桂川町の住民からの架空請求や振り込み詐欺等消費者問題に対する苦情相談や処理解決を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 	◎
防犯外灯の整備	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区からの要望箇所については、すべて設置した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> LED化及び台帳整理 	△
新主要施策の提案	-	-	-
上記を新主要施策として提案する理由	-	-	-
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する犯罪がさらに増える。 ・少子高齢化の進行(建設事業課) 		
推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・警察等と連携し、住民の防犯意識の向上が求められる。 ・- (建設事業課) 		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	住民の安心・安全な生活の確保のため
	基本施策の方向性(建設事業課)	継続実施	左記判断理由	継続的に行う施策のため
	基本施策の方向性(産業振興課)	継続実施	左記判断理由	広域的な取り組みのため、継続が必要

施策評価シート (4-1-①)

○基本事項			
4	利便性の高い都市機能の充実〈都市基盤の整備〉		
4-1	都市機能が充実したまちづくり		
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然環境と調和した適正かつ合理的な土地利用の推進を図ります。 ■ 広域な交流拠点としての桂川駅周辺環境整備を進めます。 ■ 自然災害から守る都市基盤を整えます。 			
番号	基本施策	主担当課	関係課
4-1-①	適正な土地利用の推進	企画財政課	産業振興課 建設事業課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
適正かつ合理的な土地利用の推進	3 やや良好	【成果】 ・ 開発行為の事前協議（1,000㎡以上）による協議 ・ 都市計画用途地域の変更（九郎丸国道付近・役場周辺） 【課題】 ・ 都市計画マスタープランの策定	○
適正かつ合理的な土地利用の推進 （産業振興課）	2 やや不良	【成果】 ・ 遊休農地の対策として農業委員会による農地パトロールや農地利用意向調査を実施し、解消に努めた。また、斡旋による利用推進を行った。 【課題】 ・ 担い手等の育成・確保や人・農地プランの実質化の取り組み	◎
新主要施策の提案	・ 農家の高齢化や担い手不足等により遊休農地が増加傾向にある。（産業振興課） ・ 町有地（遊休地）の有効活用（建設事業課）		
上記を新主要施策として提案する理由	・ 遊休農地の増加抑制のため担い手等の育成・確保や人・農地プランの実質化の取り組みが課題である。（産業振興課） ・ 未使用の町有地のうち、公用施設としての利用が困難な土地について、民間活力を活用して地域の活性化等に寄与すると考えられる。（遊休地の公売）（建設事業課）		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	桂川駅周辺の整備及び都市計画道路シカヤ飯塚牟田線の道路改良が進めば、駅周辺の民間開発が進んでくる。		
推進上の課題	都市機能地区及び住居地区の誘導		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	拡大して実施	左記判断理由	コンパクトシティ+ネットワーク
	基本施策の方向性 （産業振興課）	継続実施	左記判断理由	遊休農地を解消するためにも継続が必要である。

施策評価シート (4-1-②)

○基本事項			
4	利便性の高い都市機能の充実〈都市基盤の整備〉		
4-1	都市機能が充実したまちづくり		
基本方針			
<p>■ 自然環境と調和した適正かつ合理的な土地利用の推進を図ります。</p> <p>■ 広域な交流拠点としての桂川駅周辺の環境整備を進めます。</p> <p>■ 自然災害から守る都市基盤を整えます。</p>			
番号	基本施策	担当課	関係課
4-1-②	桂川駅周辺を中心とした市街地整備	建設事業課	企画財政課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由(成果・課題)	今後の重要度
桂川駅周辺の整備	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺地区都市再生整備計画が令和3年3月で完了する。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺地区の民間活力の導入が期待されるが、都市計画上の用途地域が定まっておらず、スプロール化が懸念される。 	◎
桂川駅周辺の整備 (企画財政課)	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度から令和2年度にかけて「桂川駅周辺地区都市再生整備計画」により事業を行っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	◎
都市計画道路の整備	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年3月に総合高校から役場前の交差点までの都市計画道路(県道豆田稲築線土師工区)が新たに整備された。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役場前交差点から国道200号までの区間の早期実現が望まれる。 	◎
都市計画道路の整備 (企画財政課)	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筑豊広域都市計画道路 シカヤ飯塚牟田線の一部区間(嘉穂総合高校から桂川町役場前まで)について平成26年度から令和元年度にかけて整備を行った。残りの区間(桂川町役場前から国道200号線まで)に関しても平成31年度に計画の変更を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シカヤ飯塚牟田線の残りの区間の整備 ・ 未整備路線などについての計画の見直しと検証 	◎
新主要施策の提案	都市計画道路の見直しと検証(企画財政課)		
上記を新主要施策として提案する理由	平成6年8月に都市計画を決定して以降、社会情勢や環境の変化により未着手の計画道路などについては今後の必要性などを検証し、見直しを行う必要があるため(企画財政課)		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	桂川駅周辺の整備により、駅周辺の民地なども開発が進むことが予測される。		
推進上の課題	無秩序な開発が進まないように注意する必要がある。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	都市計画道路の整備は、桂川町の骨格道路に位置付けられるものであり、豊かな生活を実現するために重要である。
	基本施策の方向性 (企画財政課)	拡大して実施	左記判断理由	コンパクトシティ+ネットワーク

施策評価シート (4-1-③)

○基本事項			
4	利便性の高い都市機能の充実〈都市基盤の整備〉		
4-1	都市機能が充実したまちづくり		
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然環境と調和した適正かつ合理的な土地利用の推進を図ります。 ■ 広域な交流拠点としての桂川駅周辺の環境整備を進めます。 ■ 自然災害から守る都市基盤を整えます。 			
番号	基本施策	主担当課	関係課
4-1-③	自然災害から守る都市基盤の整備	建設事業課	総務課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
治山治水対策の推進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨今の豪雨災害により被災した斜面、ため池等を災害復旧事業で復旧し、町民の安全・安心な生活に寄与した。駅南地区では、防災調整池を建設した結果、道路冠水等の被害が軽減されており、減災効果があった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気候変動によって降雨量が増加傾向にあり、土砂災害等が頻発しつつある。 	○
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	降雨量の増加に伴い、住宅地における道路冠水、斜面崩壊等の被害が増加する。		
推進上の課題	災害に対して事前対策は困難であるが、土砂災害警戒区域に指定されている箇所の対策を行うことは可能である。補助対象となる条件の整理や財源確保の検討が必要である。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	住宅地の雨水排水機能の向上を図る必要がある。

施策評価シート (4-2-①)

○基本事項			
4	利便性の高い都市機能の充実〈都市基盤の整備〉		
4-2	安全で円滑な道路交通網・情報通信網の整備		
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全で利便性の高い道路網の整備を推進します。 ■ 交通機関が一体となった公共交通体系の整備に努めます。 ■ 情報化社会に対応した高速情報通信網の整備に努めます。 			
番号	基本施策	主担当課	関係課
4-2-①	道路網の整備	建設事業課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
幹線道路の整備	3 やや良好	【成果】 ・国道200号から桂川駅南側につながる町道山崎・上深町線を整備し、駅周辺地区の利便性向上を図ることができた。 【課題】 ・快適な幹線道路にするためには、拡幅や歩道整備等の改良が必要となる場合があり、用地の確保が課題となる。	○
生活道路の整備	3 やや良好	【成果】 ・限られた財源のもと、傷んだ舗装の修繕等を行い、生活基盤となる道路の維持管理に努めた。 【課題】 ・計画的な舗装の維持修繕を行う必要がある。	○
橋梁の点検・維持管理の強化	4 良好	【成果】 ・橋梁点検を全橋実施し、老朽化が進んでいる橋梁や15m以上の橋梁を対象に修繕を実施し、安全な通行を確保した。橋梁長寿命化計画を見直した。 【課題】 ・多くの橋梁があり、計画的に修繕を実施する必要がある。	○
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	舗装や橋梁の老朽化の進行、維持管理費の増加		
推進上の課題	舗装について、計画的な点検と維持管理が必要である。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	現在の施策方針で、ある程度の成果を得ている。

施策評価シート (4-2-②)

○基本事項			
4	利便性の高い都市機能の充実〈都市基盤の整備〉		
4-2	安全で円滑な道路交通網・情報通信網の整備		
基本方針			
<p>■ 安全で利便性の高い道路網の整備を推進します。</p> <p>■ 交通機関が一体となった公共交通体系の整備に努めます。</p> <p>■ 情報化社会に対応した高速情報通信網の整備に努めます。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
4-2-②	公共交通環境の充実	企画財政課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
公共交通手段の維持・充実	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西鉄バスからの町内全路線廃止の申し入れを受け、桂川町からの路線維持・存続の要望を行った結果「碓井・大分坑線」の一部廃止を行うことになった。 「碓井・大分坑線」の一部廃止をうけ、嘉麻市との協議により、一部廃止区間については嘉麻市バスが運行することになり、桂川町民も利用可能となった。運賃については、桂川町が嘉麻市バス回数券の購入を補助している。また、存続となった区間については、飯塚市、嘉麻市とともに赤字補填を行っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の減少による補填額の増または、減便 	○
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	公共交通の利用者が減少しているうえ、運転手不足などにより一部路線の廃止や減便が進んでいる。		
推進上の課題	路線の廃止や減便を進めないように要望するとともに、公共交通利用者を増やすような働きかけが必要である。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	拡大して実施	左記判断理由	コンパクトシティ+ネットワーク

施策評価シート (4-2-③)

○基本事項			
4	利便性の高い都市機能の充実〈都市基盤の整備〉		
4-2	安全で円滑な道路交通網・情報通信網の整備		
基本方針			
<p>■ 安全で利便性の高い道路網の整備を推進します。</p> <p>■ 交通機関が一体となった公共交通体系の整備に努めます。</p> <p>■ 情報化社会に対応した高速情報通信網の整備に努めます。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
4-2-③	情報通信網の整備	企画財政課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
高速情報通信網の整備	4 良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の約9割の地域に光回線 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山間部への拡充 	△
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	インターネット（高速通信情報網）の需要が高まっている。		
推進上の課題	山間部への拡充には整備費を要する。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	ゆのうら体験の杜や二反田団地への整備による利便性の向上

施策評価シート (5-1-①)

○基本事項			
5	地域資源を生かした産業づくりと雇用の確保（産業の振興）		
5-1	環境と調和した農林業を育てるまちづくり		
基本方針			
<p>■ 農林業を安定して進められる生産基盤を確保します。</p> <p>■ 収益力のある農業を創出し、農業の活性化を図ります</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
5-1-①	安定した農林業基盤の整備	産業振興課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
担い手等の育成・確保	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業委員会や普及指導センター（県）と連携し、就農相談等を行い、認定新規就農者や認定農業者等担い手の確保を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規就農者の確保 	◎
農地の集積・有効活用	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業委員、最適化推進委員と共に中間管理事業を活用し農地利用の集積を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の担い手不足等による遊休農地の増加抑制。 	◎
地域活動への支援	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ぐるみで農地の保全活動を行う組織に対し、国・県の補助事業を活用し支援を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動組織の拡大 	◎
農地・農道・農業用水等の整備	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要望のあった農業用施設等について、緊急性を重視し計画修繕を行い、長寿命化につなげた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化や経年劣化による農業用施設の修繕箇所が多いため、国・県の補助事業を活用した計画修繕が必要 	◎

森林の保全・育成の推進	3 やや良好	【成果】 ・森林の保全や育成のため、県の補助事業を活用し間伐等を行い、荒廃森林の再生を行った。 また、森林環境譲与税を有効活用するため森林環境整備基金を設置した。 【課題】 ・森林環境整備基金を活用した森林整備	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	平成31年度から森林環境譲与税を活用した森林整備等の推進が始まった。		
推進上の課題	森林環境税の前段とした森林環境譲与税を財源に森林整備等の推進が必要となった。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	拡大して実施	左記判断理由	新たに森林環境譲与税が始まったことにより、計画的な森林整備等の推進が必要となったため拡大実施が必要である。

施策評価シート (5-1-②)

○基本事項			
5	地域資源を生かした産業づくりと雇用の確保〈産業の振興〉		
5-1	環境と調和した農林業を育てるまちづくり		
基本方針			
<p>■ 農林業を安定して進められる生産基盤を確保します。</p> <p>■ 収益力のある農業を創出し、農業の活性化を図ります</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
5-1-②	新たな活力を生む農業の創出	産業振興課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
農産物の生産性向上の促進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘉穂総合高校、とれたて村と連携した農産物販売会「青空市」を実施し、販売推進を行った。 ・また、大規模小売店舗（トライアル桂川店）内に産直コーナーを設置し、生産性向上を図る。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷者の確保 	◎
特産品開発の支援	1 不良	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品の開発に至っていない。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 	○
安全・安心の農業の促進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域農業再生協議会、JAと連携し、戦略作物の生産振興やいちご苗の購入補助を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな戦略作物の推進が必要である。 	◎
地産地消の推進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とれたて村による学校給食への地産地消を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 	◎
物産販売拠点の検討	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模小売店舗（トライアル桂川店）内に産直コーナーを設置し、新たな販売拠点として販路拡大を図る。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷者の確保 	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	大規模小売店舗（トライアル桂川店）の出店に伴い、地元農産物等の販売拠点が増加した。		
推進上の課題	産直コーナーへの出荷者の確保が課題である。		

○基本施策の方向性			
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	拡大して実施	左記判断理由
			大規模小売店舗の参入により地元出荷者の販路拡大につなげるため、拡大実施が必要である。

施策評価シート (5-2-①)

○基本事項			
5	地域資源を生かした産業づくりと雇用の確保（産業の振興）		
5-2	活力ある商工業の振興		
基本方針			
<p>■ 商工業の維持・発展に向けた取組を支援します。</p> <p>■ 商工会と連携し、新規創業者の育成・支援を行います。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
5-2-①	商工業の活性化支援	産業振興課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
地元商店の活性化	3 やや良好	<p>【成果】</p> <p>・ 商工会への運営支援やプレミアム付商品券事業支援、住宅改修事業の補助支援を行い、地元商店での購入促進、地域経済の活性化を図った。</p> <p>【課題】</p> <p>・ プレミアム付商品券の使用可能店舗の拡大</p>	◎
工業関連機関との連携	3 やや良好	<p>【成果】</p> <p>・ 飯塚市、嘉麻市、桂川町に所在する事業所で構成する嘉飯桂産業振興協議会に対し運営支援することで、人材育成を目的とした研修等を通じて人材の資質を高めることにより、地域産業の振興発展を図った。</p> <p>【課題】</p> <p>-</p>	○
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	コロナ感染症の拡大による地域経済への影響が懸念される。		
推進上の課題	-		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	町内商工業の振興につながる支援等であるため継続実施が必要である。

施策評価シート (5-2-②)

○基本事項			
5	地域資源を生かした産業づくりと雇用の確保（産業の振興）		
5-2	活力ある商工業の振興		
基本方針			
<p>■ 商工業の維持・発展に向けた取組を支援します。</p> <p>■ 商工会と連携し、新規創業者の育成・支援を行います。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
5-2-②	商工業の新規創業者の支援	産業振興課	-

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
新規創業者の育成・支援の推進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 創業時の負担軽減と経営の安定化を図ることを目的に創業資金融資を受けた中小企業者に対し、利子の1/2を補助する制度「創業資金融資利子補給金」を整備した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規創業者の拡大 	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	近年、郊外の大型店舗の増加や地域人口の減少等に伴う地域消費需要の縮小により、町内の事業所数・従業員数が減少傾向にある。		
推進上の課題	新規創業者の拡大が課題である。		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	平成31年度に整備したため継続が必要である。

施策評価シート (5-3-①)

○基本事項			
5	地域資源を生かした産業づくりと雇用の確保〈産業の振興〉		
5-3	個性を発揮した定住化を目指した交流人口の拡大		
基本方針			
<p>■王塚古墳を中心とした古代文化遺産による町の魅力づくりを進めます。</p> <p>■広域エリアでの連携による観光推進により、まちへの集客力を高めます。</p>			
番号	基本施策	主担当課	関係課
5-3-①	王塚古墳を中心とした古代文化遺産による町の魅力づくりの推進	社会教育課	産業振興課 企画財政課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
王塚古墳の魅力を活用した交流人口の拡大を目指した情報発信の推進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> テレビ番組の一部で取り上げられるなど、王塚古墳の知名度を向上させる契機が増加している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町からの働きかけではなく、テレビ局の企画であるので、町からの発信となる取り組みが必要である。 	◎
王塚古墳を中心とする町の歴史をテーマとした商品開発の支援	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 博多人形師のおはじき、体験活動での組み木など、王塚古墳に関心を持った製作者からの取り組みはある。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 製作者からの働きかけによる開発。町からの働きかけでなく、広がりに欠ける。 	◎
王塚古墳を中心とした古代文化遺産を活用した観光地づくりの推進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金比羅山古墳の調査、現地説明会、報告書刊行と県史跡指定、天神山古墳の調査と現地説明会、コノマ遺跡の現地説明会など埋蔵文化財の公開活用の事業を実施し、多数の参加者を得た。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地最寄りの駐車場の確保、現地までの道、現地での案内板等の整備、複数個所をむすんでルートづくりなど全体的な取り組みにするための整備が未着手 	◎
新主要施策の提案	-		
上記を新主要施策として提案する理由	-		
○主要施策を取り巻く環境の変化・課題			
環境変化	SNSなど情報の発信、取得の方法の変化		
推進上の課題	情報発信の取り組みについて、ノウハウの不足とマンパワーの不足		

○基本施策の方向性				
今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記判断理由	桂川町を発信する取り組みとして、引き続き取り組んでいくものと考えている。

施策評価シート (5-3-②)

○基本事項			
5	地域資源を生かした産業づくりと雇用の確保（産業の振興）		
5-3	個性を発揮した定住化を目指した交流人口の拡大		
基本方針			
<p>■王塚古墳を中心とした古代文化遺産による町の魅力づくりを進めます。</p> <p>■広域エリアでの連携による観光推進により、まちへの集客力を高めます。</p>			
番号	基本施策	担当課	関係課
5-3-②	広域的な観光推進体制の確立	社会教育課	産業振興課

○基本施策を構成する主要施策の評価			
主要施策	評価	左記判断理由（成果・課題）	今後の重要度
王塚装飾古墳館を観光拠点とする観光PRの推進	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回の特別公開では、全国の博物館系施設にポスターを配布し、広報を行っている。 ・展示案内の多言語対応に伴い、特別公開時のポスターには、外国語で案内するホームページへのQRコードを掲載している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は、特別公開の時期だけのポスター、常時貼ってもらえるポスターなど、広報面の強化が課題、観光業への周知により、古墳館を含めた旅行企画への働きかけが必要かと思われる。 ・古墳館に来館した人が、周辺の文化財の見学を行うための地図の作成など、拠点として必要なものは何かを検討し、整備していくことが課題 	◎
広域連携による観光ルートの開発	3 やや良好	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・王塚古墳の特別公開と同日程で、遠賀川流域の古墳同時公開（近隣市町の古墳・遺跡の公開）を行っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔地からの来訪者の場合、公共交通機関での近隣の遺跡の見学が困難。巡回バスなどの要望がある。 	◎

観光商品の開発支援	3 やや良好	【成果】 ・王塚装飾古墳館で販売するグッズは随時新規作成し、販売を開始している。 【課題】 ・グッズ作成のための企画を古墳館中心で行っている。より広く企画を考える体制づくりにより、より売れるグッズを目指すべき？	◎
-----------	-----------	--	---

新主要施策の提案	-
----------	---

上記を新主要施策として提案する理由	-
-------------------	---

○主要施策を取り巻く環境の変化・課題

環境変化	古墳に対する関心は増え、マスコミ効果などから特別公開の参加者は増加傾向にある。
------	---

推進上の課題	増加している関心を、観光ルート、観光商品につなげる取り組みが必要
--------	----------------------------------

○基本施策の方向性

今後の方向性の判断	基本施策の方向性	継続実施	左記 判断理由	王塚古墳の保存活用の取り組みの一環として、観光面についても強化していく必要がある。
-----------	----------	-------------	------------	---